

第9回 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議
議事次第

日時：令和8年3月11日（水）14:00～16:00

1. 開会

2. 関東運輸局長挨拶

3. 議題

(1) 前回国議の振り返りについて

(2) プロジェクトの今後の方向性及び取組・課題状況について

4. その他

「大阪・関西万博期間における訪日外国人旅行者の消費行動分析」レポートについて

5. 閉会

【配付資料】

- ・ 議事次第（本紙）
- ・ 出席委員名簿
- ・ 配席図
- ・ [資料1] 前回国議の振り返りについて
- ・ [資料2] プロジェクトの今後の方向性及び取組・課題状況について
- ・ [資料3] 江戸街道プロジェクト推進ビジョン2025（案）
- ・ [資料4] 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議要綱
- ・ [資料4-2] 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議要綱新旧対照表
- ・ [資料5] R7 実証事業モデルルート紹介資料
- ・ [資料6] ※非公開資料
- ・ [資料7] ※非公開資料

第9回 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議 出席者名簿

委員

(順不同・敬称略)

役職等	氏名	備考
(公社) 日本観光振興協会総合研究所 顧問	丁野 朗	
(株) リクルート地域創造部 部長	高橋 佑司	
(株) 三菱総合研究所 主席研究員	宮崎 俊哉	
跡見学園女子大学 兼任講師	山崎 まゆみ	
(株) ジャーマン・インターナショナル 代表取締役社長	ルース・マリー・ジャーマン	
(特非) 全国街道交流会議 専務理事	古賀 方子	
足立成和信用金庫 理事長	土屋 武司	
(一社) 日本ウオーキング協会 事業統括専務理事	井上 成美	
(株) JTB 総合研究所 主席研究員	亀山 秀一	
(一社) ONSEN・ガストロノミーリズム 推進機構 相談役	岡村 清二	欠席
国土交通省 関東運輸局長	藤田 礼子	

オブザーバー

(順不同・敬称略)

役職等	氏名	備考
(一社) 関東広域観光機構 CMO 兼 プロジェクト統括	畑山 博康	
(一社) 関東広域観光機構 事務局次長	秋田 仁寿	
(公社) 日本観光振興協会 地域連携部長 兼 関東事務局長	佐々木 晃久	

内容

対応方針

1. 事業者交流会・ベストプラクティスに関するご意見

(1-1)
事業者交流会は他地域との連携や事業創出の契機になるため、対面開催が望ましく、来年度以降は持続可能な事業推進のため、事業者自身が定期的に対面交流する体制が構築されると良いのではないかと。

ご指摘のとおり、対面での開催がより効果的と考えられることから、2/9に事業者交流会を対面で開催したところ。来年度についても、持続可能な事業推進の観点から、事業者自身が主体となれるような工夫を検討しながら、継続的なコミュニケーションの場が確保されるよう、取り組んで行く予定です。

(1-2)
ベストプラクティス選定基準に本プロジェクトの要点を記載し、様式には事業背景や街道間等の連携経緯を記載すべきである。社会的話題との関連等でメディアに取り上げられやすい事例や、成功要因も併せて記載する形で補助事業終了後も継続販売している事例を選定してはどうか。

江戸街道プロジェクトに関連する案件の事例を収集し、その中からベストプラクティスを選定すべく、本会議にて、メディアへの訴求力や事業継続性の観点等、選定基準についてお諮りいたします。(資料2 P10)

2. ポータルサイトに関するご意見

江戸文化体験型コンテンツの選定について早期に掲載してもらいたい。また、それ以外の江戸街道関連情報も入り、掲載内容が充実するとなお良い。

関東運輸局Webサイト内での江戸街道プロジェクトホームページも活用するとともに、関東広域観光機構の運営するサイトにおいても、江戸文化体験型コンテンツのほか、令和7年度関東運輸局実証事業によって新たに構築したモデルルート及び作成したショート動画につきまして掲載いただくことを予定しております。

3. 江戸街道プロジェクト全般に関するご意見

(3-1)
プロジェクトの提供テーマを整理する等、ブランディングを再検討し、顧客目線の観点から「江戸街道関連の商品・場所で何が味わえるか」を明確化・提示する必要がある。併せて地域住民や事業者側への街道の認知度を高めていくと良い。

ご指摘をふまえ、江戸街道プロジェクト推進ビジョン2025(案) 1. 「はじめに」へ、庭園(GREEN)、酒蔵、食、温泉といったテーマを積極的に取り扱う旨を記載するほか、プロジェクトで取り扱う内容を2. に盛り込むこととしました(資料3 P2)。また、顧客目線を踏まえた事業者交流会の開催、ベストプラクティス・取組事例集の共有により成果を積み上げていき、誘客・消費等に資する顧客にとっての価値を見極めてまいります。

さらに、事業者や旅行者のみならず、地域住民の認知度向上のため、メディア露出機会の拡大、ポータルサイトでの情報発信や、BtoCイベントの継続的な実施等を通じて、江戸街道の認知度向上やプロジェクトへの参画意識・協力体制の醸成につながるよう、取組を進めてまいります。

(3-2)
食に関する取組が弱まっている。この点を含め、現在の事業実施地域をつないで体系化する等、街道の広域連携を促進することが重要である。

食に関する取組を含め、地域が連携し、点から線、線から面といった広がりにつなげるよう、広域周遊ルートの構築をはじめとしたプロジェクトを推進してまいります。

(3-3)
GREEN×EXPO 2027を活かしたプロモーションを進められると良い。

関東ブロック戦略会議の場において「GREEN×EXPO 2027」の機運を醸成し、広域観光を促進していくことを掲げ、連携促進のための協議・検討を行っております。こうした機会を捉え確実な誘客につなげるため、「江戸街道プロジェクト」と連携した広域周遊ルートの構築・発信等の取組につきまして、ブロック戦略会議の場も活用しながら、引き続き進めてまいります。

(2) プロジェクトの今後の方向性及び取組・課題状況について

関東運輸局観光部
令和8年3月



EDO SHOGUN ROADS

今後の方向性について

取組・課題状況について
①観光地域づくり等

取組・課題状況について
②情報発信・プロモーション

1 江戸街道プロジェクト推進ビジョン2025の概要

江戸街道プロジェクト推進ビジョン2025(新ビジョン)の位置づけ

「江戸街道プロジェクト推進ビジョン2025」は、広域関東(※)エリア内の各地域によるプロジェクトへの積極的な取組を促すとともに、各地域が連携・協働することで、それぞれの取組が相乗的な効果を発揮し、プロジェクトの推進において効果的な施策となるよう取組の方向性、方針をとりまとめたものです ※ 広域関東…福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県の1都10県

プロジェクトの目的

自治体の境界を越えて関係者が連携し、地域を活性化させるとともに、魅力発信力を高め、付加価値を向上させることで来訪と観光消費の促進につなげ、地域が自走していき、その効果を周く地域にもたらすことを目的とする取組

取組の方向性

ターゲット

- コアターゲット
- メインターゲット
- サブターゲット

ターゲット設定の詳細については右に記載

○ 観光地域づくり

- ① 面的観光の推進
- ② 支援メニュー・支援内容の充実
- ③ 支援の連携
- ④ 新たな視点による取組
- ⑤ 地域の自主的取組

○ 情報発信・プロモーション

- ① 認知度の更なる向上のための取組
- ② インナーブランディング強化
- ③ 支援メニュー・支援内容の充実
- ④ 支援の連携
- ⑤ 情報発信ツールの整備、プロモーション連携
- ⑥ 新たな視点による取組
- ⑦ 地域の自主的取組

○ 受入環境整備

- ① 支援メニュー・支援内容の充実
- ② 支援の連携
- ③ 新たな視点による取組
- ④ 地域の自主的取組

各種データの把握

新ビジョンの取組期間

2025年4月から2028年3月

※次期ビジョン2028年4月～

積極的に発信するテーマ

- ・庭園(GREEN)
- ・酒蔵(酒蔵巡りや伝統的な酒づくり)、食(食文化)
- ・温泉(温泉文化)

2030年 政府目標

日本人国内旅行消費額:22兆円 訪日外国人旅行者数:6,000万人
訪日外国人旅行消費額:15兆円 地方部外国人延べ宿泊:1.3億人泊



江戸街道プロジェクトロゴマーク



江戸街道プロジェクトHP

取組により期待されるメリット

toB:観光を横串にした地域の課題解決、地域の活性化、付加価値の向上による地域への還元/持続可能な観光の確立

toC:付加価値の向上した旅行の提供による新しい価値の享受

ターゲット(対象市場:国内市場並びに欧米豪市場及び台湾市場)

コアターゲット:「江戸」に関連した歴史や伝統に高い関心がある層/既に定番の歴史観光資源を訪れ、その他の地域の歴史文化にも触れたい、新しい体験をしたい層

メインターゲット:歴史や伝統に好意的で、興味があり、旅行において歴史や伝統も楽しみたい層

サブターゲット:アクティブシニア/各ビークルユーザー

歴史自体に興味は薄く、それ自体を旅行目的としないが、旅行者のやりたいことが、温泉や食・酒といった誘客の切り口となるテーマと合致する場合に、導線設計により歴史につなぐことができる層。

2 江戸街道プロジェクト事業実施方針・スケジュール

年度	主な取組内容	
R7 2025	【観光地域づくり・連携支援】、【ブランディング強化】 【プロモーション展開】 ・ 海外向け Edo Shogun Roads プロモーション開始 (R8.3.20キックオフセレモニー) ○Edo Shogun Roadsプロモーション動画 ○庭園・フラワーリズムモデルコース ○江戸文化体験型コンテンツ15選の発表 ○関東広域観光機構サイトのリニューアル (地域周遊観光促進事業)	江戸街道 プロジェクト 推進ビジョン 2025
R8 2026	【観光地域づくり・連携支援】 ・観光庁補助事業を活用した案件形成 (コンテンツ化) 促進・伴走支援 ・江戸街道関連事業者交流会の開催 ・有識者派遣による地域支援 ・ベストプラクティス・取組事例集 【プロモーション展開】 ・関東広域観光機構と連携した海外向けプロモーション展開 (FAMツアー、HP・SNS情報発信・デジタル広告、海外旅行博 等) ・JNTOと連携したインバウンドプロモーション (広域連携プロモーション事業) ・BtoCイベントの開催	第五次 観光立国 推進基本 計画
R9 2027	【観光地域づくり・連携支援】 ・観光庁補助事業を活用した案件形成 (コンテンツ化) 促進・伴走支援 ・江戸街道関連事業者交流会の開催 ・有識者派遣による地域支援 ・ベストプラクティス・取組事例集 【プロモーション展開】 ・GREEN EXPOとの連携、神奈川県DCとの連携 ・BtoCイベントの開催 ・JNTOと連携したインバウンドプロモーション (広域連携プロモーション事業) 江戸街道プロジェクトの進捗確認及び振り返り (総括) ・推進ビジョン2025の見直し及び改定	
R10 2028	<h3>新たな推進ビジョンに基づくプロジェクトへの取組</h3>	江戸街道 プロジェクト 推進ビジョン 2028
R11 2029	※2028年度以降も長期的にプロジェクトを継続	第六次 観光立国 推進基本 計画
R12 2030		

今後の方向性について

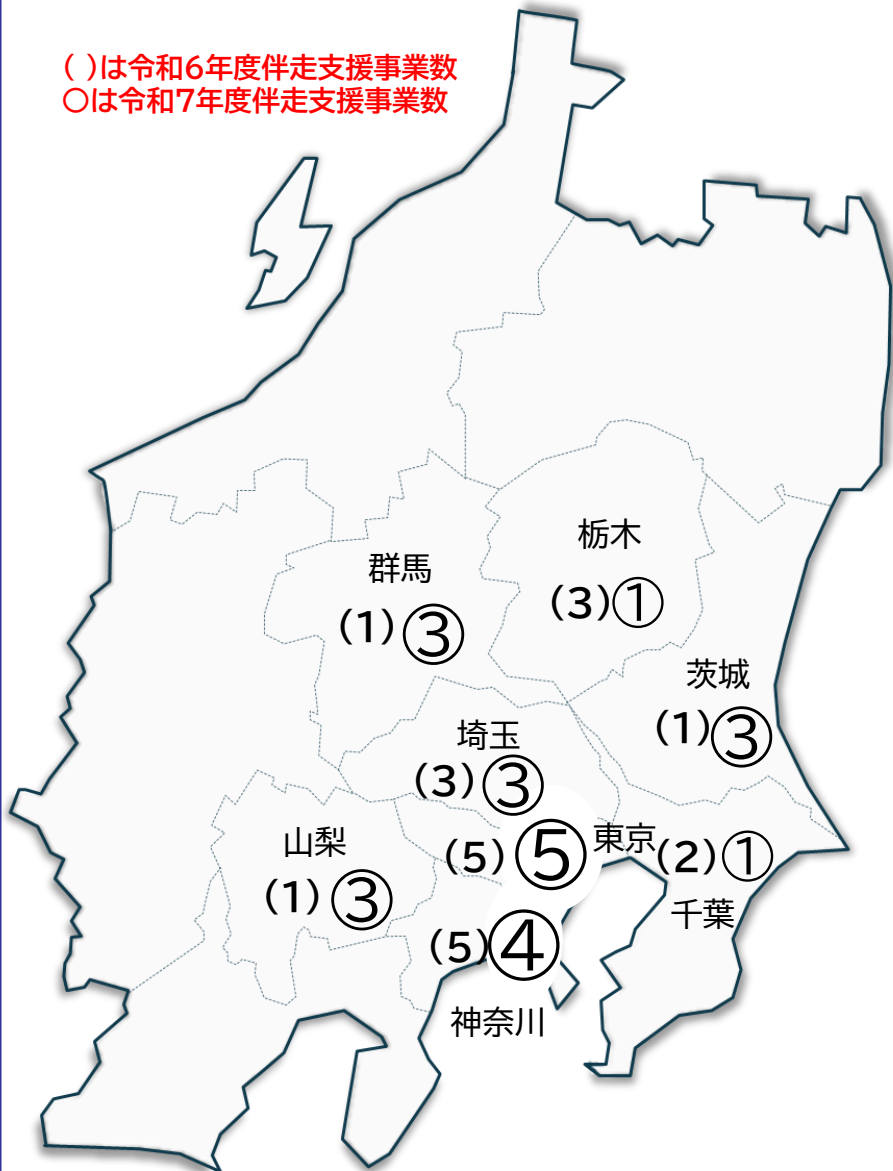
取組・課題状況について
①観光地域づくり等

取組・課題状況について
②情報発信・プロモーション

3 観光庁補助事業を活用した江戸街道プロジェクト関連案件の支援

令和7年度事業の取組状況について

()は令和6年度伴走支援事業数
○は令和7年度伴走支援事業数



令和6年度伴走支援をした事業数・・・21件

令和7年度伴走支援をした事業数・・・23件

令和7年度事業総括

- 地域観光魅力向上事業: 21件
- 地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業: 2件
- 街道別件数: 日光・奥州街道11件、甲州街道3件、東海道4件、中山道4件、起点1件
※脇往還については五街道に含めて計上
- 積極的に発信するテーマ: 庭園(GREEN)2件、酒蔵(酒蔵巡りや伝統的な酒づくり)、食(食文化)12件、温泉(温泉文化)3件
※事業内で複数テーマに該当する場合、重複して計上
- ロゴマーク届出数: 14件
※うち11件が補助事業関係

令和8年度に向けて

- 継続性・事業成果等の把握のため、令和7年度事業で造成された案件に関して、フォローアップ調査や事例集の作成等を行う

4 次年度観光庁補助事業を活用した江戸街道プロジェクト関連案件支援

観光需要分散のための地域観光資源のコンテンツ化促進事業の概要

事業内容

- 需要分散に資する観光コンテンツの供給に向けた取組を支援する。
 - ・ 多様な地域資源を活用した観光コンテンツの造成や情報発信、販路開拓等を総合的に支援
 - ・ インバウンドのニーズを踏まえ、品質を高めた高単価な観光コンテンツや、地域産業への波及効果が期待できるガストロノミー分野の観光コンテンツ等を重点的に支援
 - ・ その際、継続的な販売につながるよう、デジタル上での効果的な情報発信等を促進
- 観光コンテンツとガイドの一体的な質的向上に向け、コンテンツに応じたスキル・研修設計、ガイドの評価制度と報酬体系の構築のあり方、ガイドの可視化手法等について調査する。

【支援対象事業】

- ① 新創出型：地域資源を活用した観光コンテンツの造成、効果的な情報発信や販路開拓等を支援
- ② 品質向上型：より高単価なインバウンド向けのオプションルツアー等の造成に向け品質向上等の取組を支援
- ③ 分野特化型(ガストロノミー)：地域の食資源を活用し、幅広い連携により、地域の食文化を体感できる質の高い観光コンテンツの造成、販路開拓等を支援

事業スキーム

● 事業形態：調査事業等、間接補助事業

- ① 新創出型：400万円まで定額、超える部分は事業費2,100万円まで補助1/2（最低事業費 600万円）
- ② 品質向上型：800万円まで定額、超える部分は事業費4,200万円まで補助1/2（最低事業費1,200万円）
- ③ 分野特化型(ガストロノミー)：400万円まで定額、超える部分は事業費2,500万円まで補助1/2（最低事業費 600万円）

● 補助対象：地方公共団体、DMO、民間事業者等

スケジュール

・ 一次公募：令和8年2月27日(金)～4月2日(木)／採択決定：5月下旬／交付決定：6月中旬～7月目途

※ 予算の状況により、採択後に二次公募を行う場合あり

事業イメージ

地域資源を活かした
観光コンテンツの造成



文化資源の活用
(伝統工芸)

品質を高めた高単価な
観光コンテンツの造成



地域の伝統行事の活用

ガストロノミー分野における観光コンテンツの造成

< 地域一体的な食文化体験 >



生産現場と食体験の連動



伝統工芸品での
高品質な食体験

コンテンツとガイドの一体的な質的向上

以下の取組のあり方について調査

- ・ コンテンツに応じたスキル・研修設計
- ・ ガイドの評価制度・報酬反映体系の構築
- ・ コンテンツとガイドのマッチングシステム構築
- ・ 実践的研修の実態

5 令和7年度第2回「江戸街道関連事業者交流会」について

開催の目的

本交流会は江戸街道に関わる事業者が新たな視点や実務的なヒントを得て、既存事業の磨き上げだけでなく、質の高いコンテンツづくりに活かしていただくことを目的としています。事業者による実施事業の事例発表や事業継続性の高い商品造成をテーマとしたワークショップなどを通じて、他地域の取り組みやさまざまな発想に触れ、今後の事業展開に生かせる気づきを得られる場とします。

開催日時

日 時: 令和8年2月9日(月)13:30~16:30
 場 所: グラントウキョウサウスタワー 41階 スカイルームB・C

出席者

街道関連事業に取り組む民間事業者、地方公共団体、DMO等 62名
 (関係者: 関東広域観光機構 CMO兼プロジェクト統括、事務局次長)

江戸街道関連事業者交流会 プログラム

1. 関東運輸局長 あいさつ

2. 有識者 あいさつ

江戸街道プロジェクトアドバイザリー会議 座長 丁野 朗 氏
 江戸街道プロジェクトアドバイザリー会議 委員 高橋 佑司 氏

3. 江戸街道プロジェクトについて

4. 一般社団法人関東広域観光機構の紹介

5. 課題解決支援メニュー及び補助金の採択に向けたポイントの紹介

関東運輸局より、現在の観光産業の状況、第五次観光立国推進基本計画の改訂に向けたトレンドを紹介した。また「地域観光魅力向上事業」における採択事業者の選定の観点から、採択に向けたポイントを説明し、「観光需要分散のための地域観光資源のコンテンツ化促進事業」の概要を説明した。

6. 参加事業者等による実施事業の事例発表

- (1) 株式会社ろじこや
- (2) はちす葉 BONSAI-Art、株式会社 ツーリンクス

7. 事業継続性の高い商品造成をテーマにしたワークショップ(ファシリテーター: 高橋委員)

事業継続性の高い商品造成を目指し、旅行者のJTBD(やりたいこと)を起点に、マーケットイン型の商品造成を体験していただいた。参加者の班分けについては、商品造成の思考訓練を目的としていたため、事務局により無作為に振り分けた。

広域連携を推進する観点から、点から線に、線から面に連携の輪が広がることも1つの狙いとして、より深い議論を行っていただくため、小グループ(4~6名)を12班づくり、ワークショップを実施した。ワークショップ後には代表して、4つの班に発表していただき、他の班の成果物についても後日共有を図った。

8. 有識者による総評(丁野座長)

当日の様子

局長あいさつ



関東広域観光機構の紹介



事例発表



ワークショップ



名刺交換の様子



インタビューの様子



5 令和7年度第2回「江戸街道関連事業者交流会」について

交流会後に実施したアンケート結果について（概要）

【実施期間】

令和8年2月9日(月)から令和8年2月20日(金)まで

【交流会全体の満足度について】

「今後の事業に活かせる情報を得ることができた」が74.1%、「事業に直接活かせる情報はなかったが、参考になった」が22.2%であった。

○「今後の事業に活かせる情報を得ることができた」と回答した主な理由

- ・ワークショップを行う中で、いろいろな知見をいただくことができた。
- ・他の事業について伺うことができたり、他の事業者さんと交流できたりして、参考になるヒントをもらった。専門家の先生のコメントも非常に役に立った。
- ・江戸街道についての理解を深め、ワークショップを通じて街道のコンテンツを繋ぐ意識を持つことができたため。

【ワークショップについて、今後実施して欲しいテーマについて】

- ・地域資源のを見つけ方、マーケティングの仕方、活かし方。
- ・広域連携におけるビッグデータなどの扱い方について。
- ・集客に成功事例についての検証。
- ・各市場の特性やニーズ。
- ・情報発信戦略。特に、日本では全く浸透していないPR(パブリック・リレーションズ)について、観光事業者の方、地方自治体の方に知っていただきたい。
- ・今回は自分たちでゼロから考えるものだったが、既存である悩みを解決するような形であれば、三方良しになるかと思った。
- ・外国人だけでなく地元に住んでいる人たちにもフィットする様なテーマ。
- ・事業者が保有するコンテンツを一つセレクトし、それを深掘りして改善していく試みも面白いのではないか。
- ・一つの街道をテーマに、その地域の課題を出し、参加者から連携できそうなことを提案していく。
- ・広報について手法やコンテンツの検討。

【交流会の感想について】

- ・とても勉強になった。いろんな方々と交流することはとても大事だと感じた。次回もぜひ、参加したい。
- ・配席が組織ごとではなくミックスであったのが特によかったです。
- ・ワークショップが、新鮮でとてもよい経験になった。代案は思いつかないが、初めてお目にかかる方々と交流をする契機としても、とてもよかった。
- ・交流会は、観光に携わっている方もいて和やかな雰囲気があって良かった。
- ・事務局や関連事業者の話を伺えてためになった。
- ・ワークショップはとても良い刺激になった。

作成方針(前回会議)

最初に事例集を作成。当該事例集からアドバイザリー会議委員の選定の下、1~2例程度を〇〇年度ベストプラクティスとして紹介

- 収集対象:行政、DMO、民間事業者、金融機関 etc
- 記載項目:
実施主体名、実施時期、取組背景、活用支援メニューほか、具体的な取組内容、成果・効果、工夫点・成功要因、課題点、今後の展開
- 事例の収集方法:
交流会(第二回)参加者からの収集をメインとし、その他、課題解決支援事業といった運輸局実施事例等から年度ごとに収集
- 発信媒体:
関東運輸局HPでの公開ほか、事業者交流会参加者への事例集送付
- 留意事項:
観光庁等既存の事例集との棲み分け等
- 今後の展開:
事例収集対象を拡大し、ベストプラクティス集を作成



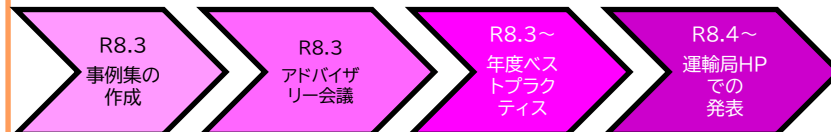
変更点

今年度、選定基準を策定。令和6年度に実施された江戸街道関連事業から事例集を作成し、アドバイザリー会議委員の選定の下、1~2例程度を令和6年度ベストプラクティスとして紹介

- 記載項目:
実施主体名、本事案の連絡窓口・連絡先、事業の目的・取組背景、取組/事業詳細、実施時期、実施場所・街道、ターゲット、活用した支援メニュー、販路、コンテンツのポイント、成果・効果、今後の事業展開、備考
- 評価体制
観光施策に知見を有するアドバイザリー委員による書面審査の上、決定

(様式イメージ)

No.〇〇 (取組又は事業の名称)		関東運輸局
実施主体名	本事案の連絡窓口・連絡先	〇〇〇
事業の目的・取組内容		画像
取組/事業詳細		
実施時期	実施場所・街道	〇〇〇
ターゲット	活用した支援メニュー	画像
コンテンツのポイント		
成果・効果		〇〇〇
今後の事業展開		画像
備考		



作成目的

○江戸街道プロジェクトへの取組過程の発信によるプロジェクトへの取組促進

自治体、DMO、民間事業者等が行っている江戸街道関連事業を整理し、取組事例を紹介・過程を共有することによりプロジェクトへ取り組む関係者の増加を図る。

○事業展開に役立つ情報の提供

工夫点等、事業に取り組む上で参考となる情報を紹介することで、今後の事業企画や改善に役立つヒントを提供する。

・その他、副次的目的として、各取組に共通する課題の洗い出しと課題解決支援方法の検討材料とする。 など

プロジェクトの成果を発信し、その意義(価値)について地域住民、関係者等の理解を得ることで広く協力関係を構築し、自治体、DMO、民間事業者等の関係者間における広域的な連携の強化につなげる。

選定基準(案)

ベストプラクティス選定にあたっては、江戸街道プロジェクトに関する取組であることに加え、以下のような視点を指標とする。

○協働性・汎用性

- ・多様なステークホルダーが協働し、連携プロセスが機能しているもの。
- ・連携が期待されるもの。(共通のテーマ性、データの共有、対象市場が合致しプロモーション面の連携で高い効果)
- ・他地域でも応用できる要素をもち、成功要因の再現可能性が高いもの。
- ・地域に共通する課題の解決に効果がある優良事例。(担い手・2次交通・滞在時間の不足 等)

○独自性・新規性

- ・意欲的かつ注目すべき事例。特に、社会的関心との親和性が高く、メディアに取り上げられやすい特性を備えているもの。
- ・他と差別化された、地域ならではの独自性や異なる観光資源をこれまでに無い形で組み合わせる等で付加価値をもたせているもの。
- ・地域の観光資源の掘り起こしを行い、新規性をもたせているもの。

○持続可能性・将来性

- ・運営体制が整備され、継続的な販売や取組が見込まれるもの。
- ・収益性や域内調達率の高さなど地域への裨益が広く見込まれ、取組の発展・展開が期待されるもの。

※ 広域・中長期にわたって実施又は効果を有するものが望ましいが、エリアの範囲は問わず、効果等が間接的であるものも含む

7 街道観光に関する課題解決支援事業

事業概要

本事業では、観光に関連する地域の課題を総合的に解決していくため、関東運輸局が窓口となり、有識者の助言、指導を通じて支援を実施する。本事業の支援の結果、申請団体の施策、取組方針等に取り入れられることを目指す。

【事業内容】

- ・募集時点では具体的なテーマを設定せず、地域の実情に応じたテーマ、内容を検討し支援を実施する。
- ・本事業実施後の取組や方向性について報告書を提出してもらい、有識者のフィードバックを受ける。

<想定有識者>

- ・江戸街道プロジェクトアドバイザー委員会を中心とする。

<支援形式(一例)>

- ・有識者による観光振興のための意見交換、講演等の実施
- ・他事業活用・補助金等申請のための有識者助言、提言の実施 等

【事業スキーム】

対象団体:①(一社)下仁田町観光協会、②(一社)ツーリズムいすみ※草加市取下げ

派遣講師:①宮崎 俊哉氏、②大下 茂 氏

想定回数:各2回有識者を派遣(原則1回につき1名)

事業期間:単年度事業

事業費:諸謝金及び旅費交通費のみ事業費負担

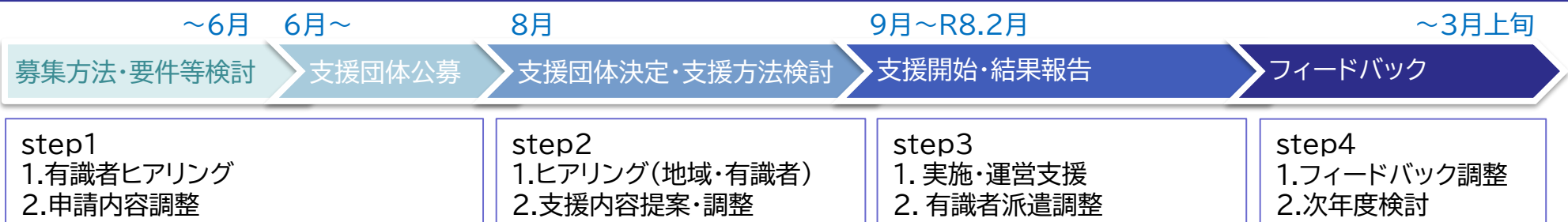
■下仁田地域のテーマ案
「持続可能な観光地域づくり」



■いすみ地域のテーマ案
「波の伊八と葛飾北斎を結ぶ広域連携観光」



事業フロー図



今後の方向性について

取組・課題状況について
①観光地域づくり等

取組・課題状況について
②情報発信・プロモーション

関東運輸局が広域関東エリアで取組を推進している「Edo Shogun Roads(江戸街道)」の海外向けプロモーションが令和8年度春から本格始動することに先立ち、キックオフセレモニーを開催します。

○開催時期:令和8年3月20日(金・祝)春分の日(10:30~11:15)

○開催場所:東京ミッドタウン八重洲1Fガレリア(東京駅から徒歩3分)

○イベント内容:Edo Shogun Roads プロモーション事業の紹介

① Edo Shogun Roads プロモーション動画&ポータルサイト完成披露

② GREEN×EXPO 2027 とコラボ 庭園・フラワーリズムのモデルコース等紹介

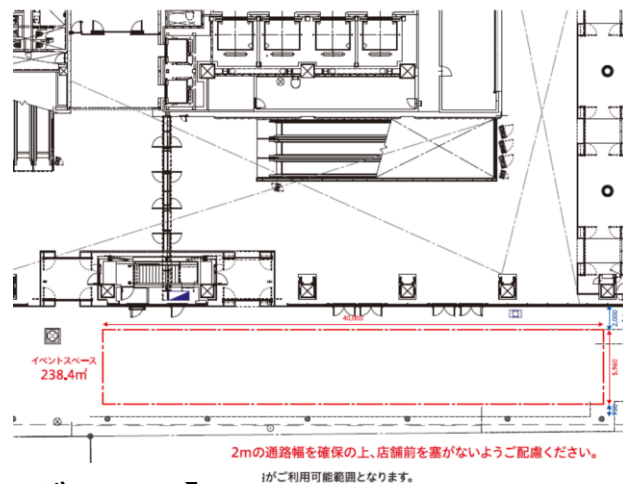
③ 江戸文化体験型コンテンツ15選の発表

○想定している対象メディア:国内外のマスコミ各社

○出席者:各都県関係者、国際園芸博覧会協会関係者、関係団体理事 等



【東京ミッドタウン八重洲1Fガレリア】



【現地のイメージ】

9 江戸街道をテーマとしたイベントについて

開催の目的

現在、関東運輸局で実施している広域関東でのブランディングを図ることを目的とした江戸街道プロジェクトをより活性化させ、地域全体の情報発信と更なる協力者を獲得するため、街道観光を一般の方に広く周知し、かつ地域還元が出来るような地域PRを目的とする。

令和7年度の開催概要

- イベント名:江戸街道ぶらり旅～広域関東圏の魅力がぎゅっ！と集まりました！！～
 開催日:令和8年3月20日(金・祝)春分の日
 開催場所:東京ミッドタウン八重洲1Fガレリア(東京駅から徒歩3分)
 後援:東京都、中央区、一般社団法人中央区観光協会
 参加者:広域関東エリアの自治体、DMO、事業者等
 実施内容:
 ①江戸街道プロジェクト及び江戸街道を紹介する展示パネルの設置
 ②江戸街道にゆかりのある地域の特産品等の魅力を発信するための物販ブースや体験コーナー等の設置
 ③観光パンフレット等の配布、来場者が楽しめるイベントステージ等の実施等

Instagram開設！今後、最新情報を配信予定！→
 [ID:EDOKAIDO0320]



※同日、本会場内で「Edo Shogun Roads(江戸街道)」
 海外向けプロモーションのキックオフセレモニーを開催します。

令和6年度の実施結果

- イベント名:江戸街道ぶらり旅～ご当地名物集めました！～
 開催日:令和6年11月16日(土)・17日(日)
 開催場所:江戸桜通り地下歩道(日本橋)
 後援:中央区、一般社団法人中央区観光協会
 参加者:広域関東エリアの自治体、DMO、事業者等
 実施内容:
 ①江戸街道プロジェクト及び江戸街道を紹介する展示パネルの設置
 ②江戸街道にゆかりのある地域の特産品等の魅力を発信するための物販ブースや体験コーナー等の設置
 ③来場者が楽しめるイベントステージ等の実施
 ④観光パンフレット等の配布
 来場実績:のべ約1,000人(16日:640人、17日:396人)
 ※時間区切りの人数で推計値

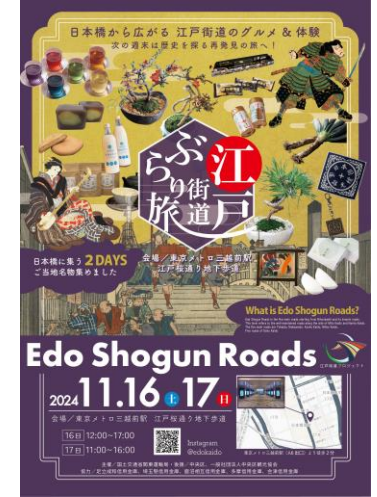
【令和6年度の様子】



▲物販コーナー



▲体験コーナー(甲冑等の着用体験)



▲「江戸街道ぶらり旅」
 ポスター兼チラシ

オープニングイベントではGREEN×EXPO 2027と連携



▲藤田局長あいさつ



▲GREEN×EXPO 2027 事務局
 太田機運醸成部長あいさつ

10 ショート動画による情報発信

○情報発信

・ショート動画による情報発信

テーマ別のショート動画を30秒程度で、スマホでの利用を想定し縦型の動画を作成

(1)江戸街道プロジェクト紹介動画1本

※本動画には「江戸街道プロジェクト」の発信に資することを目的としたオリジナル曲を創作し、起用します

(2)江戸街道(五街道+脇往還)街道別GREENコンテンツ紹介動画×4本

①東海道、②中山道、③日光・奥州街道、④甲州街道

・「Edo Shogun Roads(江戸街道)」海外向けプロモーションのキックオフセレモニーで完成披露をし
Edo Shogun Roads ポータルサイト等への掲載による積極的な発信



動画イメージ図(江戸街道編)

○モデルルート構築

- ・ 五街道毎に四季(春夏秋冬)のルート(計17ルート以上)構築
(脇往還も活用し、1都10県全てを含める)
- ・ GREEN×EXPO 2027のテーマや江戸街道プロジェクトとの連動を想定

○モニター調査の実施(4コース)

- ・ ターゲット市場に適した外国人インフルエンサー等によるモニターツアーを実施
- ・ 参加者へのアンケートによる効果検証
- ・ 実施時期 令和7年11月下旬～12月中旬

○モニターツアーコース



EDO SHOGUN ROADS



EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

©Expo 2027

街道	日光・奥州街道	中山道	甲州街道	東海道
強調テーマ	盆栽、ガーデニング文化(大宮、春花園) 自然の静寂(若竹の杜) 酒蔵見学(西堀酒造)	葛飾北斎(小布施、妙義山) 浮世絵(北斎美術館、北斎館) 温泉文化(草津)	ヴィーガンと地産食(勝沼) 足元から自然を感じる(清里)	宿場町(小田原、箱根) 古人の足取りをたどる(箱根八里)
ターゲット	英国	英国、北米、豪州	北米	英国、北米
行程 (1日目)	武蔵一宮氷川神社 大宮盆栽美術館・盆栽村見学 【埼玉県さいたま市】 西堀酒造見学・試飲 【栃木県小山市】▶宇都宮泊	すみだ北斎美術館 【東京都(両国駅)】 妙義山ガイドウォーキング 【群馬県】 ▶草津温泉or伊香保温泉泊	禅リゾート 笹一酒造 【山梨県】▶八ヶ岳泊	旧東海道箱根八里ガイドウォーク(石畳の道と杉並木、甘酒茶屋、寄木細工体験、恩賜箱根公園、芦ノ湖) 【神奈川県箱根町】▶箱根泊
行程 (2日目)	若竹の杜見学(竹林・抹茶体験) 【栃木県宇都宮市】 春花園盆栽美術館 【東京都江戸川区】	北斎館見学、岩松院 小布施酒蔵巡り 【長野県小布施】	はだしの森あるき 萌木の村 森林サウナ体験 【山梨県清里】	江之浦測候所 【神奈川県小田原市】 熙代勝覧(きだいしょうらん)見学 【東京都(三越前)】

○情報発信

- ・ 江戸街道プロジェクトの紹介動画及びモデルルートで使用した江戸街道(五街道と脇往還)のGREENコンテンツを紹介する動画を発信
- ・ 外国人インフルエンサーによるSNS発信
- ・ 江戸街道プロジェクトポータルサイト等への掲載による積極的な発信

令和7年度事業概要

※R8.3.5時点

JNTOが地域の魅力をよく知る地方運輸局及び広域連携DMO等と連携し、各地域の認知度向上を主目的にプロモーションを実施する事業。

インフルエンサー招請事業：2025年12月8日(月)～13日(土)

【対象市場：米国】



bucketlistjourney ✓

Annette | California + Travel

投稿2044件 フォロワー11万人 フォロー中281人

travel guides • bucket list ideas
→ a locals guide to Northern CA & beyond
itineraries | unique experiences | day trips

bucketlistjourney.net/links @bucketlistjourney



1日目・2日目

横浜 三溪園

伊勢原 大山詣り

3日目

山中湖 サイクリング

富士河口湖 西湖いやしの里 根場

4日目

北杜 台ヶ原宿

長野 酒蔵見学・善光寺

5日目

安中 磯部温泉

高崎 達磨寺

6日目

行田 忍城SAMURAI体験

墨田 江戸木目込人形体験

【対象市場：台湾】



kiki_theblogger ...

Ki美人生 (Kiki)

投稿1394件 フォロワー15万人 フォロー中484人

個人ブログ

什麼東西都愛分享的Ki美女子！
戲劇解析 | 實境秀 | 戀綜 | 旅遊 | 減脂
商業合作請寄信到郵箱，私訊區不另回覆呦

portaly.cc/kikitheblogger @kiki_theblogger



YouTube 19.2万人



另外一種就像我們一樣「徒步走」



《最高的女生「花魁」，也假地位最高的遊女稱呼=》

1日目

香取 佐原の町並み・和菓子作り体験

2日目

笠間 陶芸体験

栃木 蔵の町並み

3日目

日光 日光の社寺・日光江戸村

4日目

下郷 大内宿

会津若松 酒蔵見学・鶴ヶ城

5日目

新潟 古町通

新潟 せんべい焼き体験

広告事業：2025年12月1日～掲載開始

発信媒体：ユーロニュース(ニュース記事・動画を配信するヨーロッパ発のオンラインメディア)

サイトページビュー数/年間10億以上

テーマ：江戸街道「Edo Shogun Roads」の魅力

対象市場：英国、フランス、豪州

発信内容：

- ①江戸街道プロジェクトアドバイザー会議委員のルース・マリー・ジャーマン氏による江戸街道の紹介
- ②江戸街道の起点として、伝統が息づく日本橋の職人の紹介(江戸切り子の紹介)
- ③小川和紙で有名な埼玉県小川町の紹介
- ④絹織物「秩父銘仙」で有名な埼玉県秩父市の紹介



EN英語記事



EN仏語記事



Ruth Marie Jarman

Advisory Council Member, Edo Shogun Roads project

Tokugawa himself, established these five roads.

※非公開資料

江戸街道プロジェクト推進ビジョン 2025 (案)

2025年4月

国土交通省関東運輸局

目次

1. はじめに	1
2. 「江戸街道プロジェクト」の目的及び新ビジョンの基本方針等	2
(1) 本プロジェクトの目的	2
(2) 本プロジェクトにより目指すもの	2
(3) 本プロジェクトで扱うテーマ	2
(4) 本プロジェクトのターゲット・対象市場と設定理由	2
(5) 新ビジョンの位置づけ	3
(6) 新ビジョンの取組期間	3
(7) 新ビジョンの取組（取組の方向性）	3
○観光地域づくり	4
①面的観光の推進	4
②支援メニュー及び支援内容の充実	4
③支援の連携	5
④新たな視点による取組の推進	5
⑤地域の自主的取組の推進	6
○情報発信・プロモーション	6
①認知度の更なる向上のための継続的な取組	6
②インナーブランディング強化	6
③支援メニュー及び支援内容の充実（再掲）	7
④支援の連携（再掲）	7
⑤情報発信ツールの整備及びプロモーションの連携	7
⑥新たな視点による取組の推進（再掲）	7
⑦地域の自主的取組の推進（再掲）	7
○受入環境整備	7
①支援メニュー及び支援内容の充実（再掲）	7
②支援の連携（再掲）	7
③新たな視点による取組の推進（再掲）	8
④地域の自主的取組の推進（再掲）	8
○各種データの把握	8
○今後の取組の検討	8

(8) 総合的な 取組による期待される共通のメリット.....	8
3. 参考「江戸街道プロジェクト推進ビジョン 2023」の評価検証.....	9
(1) 各取組の評価.....	9
(2) 総評	18
4. 参考 広域関東観光の現状と課題	19
5. 参考 広域関東観光のポテンシャル	20
6. 参考 広域関東における観光推進の方向性.....	20
7. 参考 広域関東の新たな観光振興策「江戸街道プロジェクト」	20
8. 参考 アドバイザリー会議における委員発言要旨	21



1. はじめに

2019年に発生した新型コロナウイルスは、その蔓延により地域経済に非常に大きな損失をもたらしました。また、コロナ禍を通じて普及した新たなワークスタイルや労働移動によって、地域の事業者を取り巻く事業環境等にも変化が生じ、地域としての課題がより深刻化・明確化しているところです。

こうした状況をふまえ、観光事務を所掌しております関東運輸局におきましても、観光を通じ、広域関東^{*}エリアにおける自治体、DMO、官民の観光関係者の皆さまと連携して種々の課題に取り組むとともに、他のエリアとの差別化やマーケティング面における優位性につながるイメージ戦略としてエリア形成の礎となった「江戸時代」に焦点を当て、日本橋を起点とする五街道、及びその枝道である脇往還を「江戸街道」と総称し、江戸街道沿いに多く存在する観光資源を「江戸街道」という統一テーマによってブランディングし、連携により国内外へ効果的に発信することで誘客促進を行うため、江戸街道プロジェクト（以下、「本プロジェクト」という。）を立ち上げました。

このような経緯の下、策定した「江戸街道プロジェクト推進ビジョン 2023」（以下、「現行ビジョン」という。）は、2024年度までに効果的な施策とするために、当該エリアにおける観光団体等による「街道を活かした積極的な取組」を促すための方針としてとりまとめたものですが、策定から2年を経過する中で、観光に関する状況は更に変化を見せており、訪日外国人旅行者数が3600万人を超える等、コロナ禍からの回復が順調な推移をたどる一方で、観光地・観光産業における人材不足や観光客の特定地域の偏在といった観光行政を取り巻く様々な課題が生じています。こうした問題に対応するためには、持続可能な観光を推進していく必要があるほか、本プロジェクトの推進により観光を軸として地域が自走していき、その効果が広域関東エリアの周く地域にもたらされるようにする必要があります。また、取組を効果的なものとするためには、現行ビジョンを修正し、観光地域づくり、情報発信・プロモーション、二次交通を含めた受入環境の整備を取組の柱として位置付け、体系化するとともに、関係者とイメージを共有することが重要です。さらに、Greater TOKYO としての強み・らしさを活かすには、本エリアを形成する礎となった江戸時代**由来の**歴史文化を発信し、より多くの旅行者の方に体験型コンテンツを提供することが重要であり、こうした環境を整えることがエリア各地を周遊していただくことにつながると確信しております。

以上から、本プロジェクトの取組の進捗状況もふまえて現行ビジョンを更新し、2025年度からの取組等を定めた新たな方針を示すこといたしました。

次項からは、**現行ビジョンの検証及び検証結果をふまえて**、本プロジェクトの目的及びターゲット、今年度以降3年間の具体的な取組方針等を掲げております。直近には「GREEN×EXPO 2027」の開催を控え、広域関東エリアにも多数の集客が見込まれておりますほか、地域においてはユネスコ無形文化遺産への認定や登録を目指す動き等も見られ、こうした機会や気運をうまく捉え、本エリアへの確実な誘客につなげるべく、江戸時代に関連する庭園（GREEN）を本プロジェクトに親和性の高いテーマとして位置づけるとともに、酒蔵（**巡り**や伝統的な酒づくり）、温泉（温泉文化）、**食（食文化）**といったテーマを積極的に取り上げながら、これら以外の多様なテーマも活用し、本エリアが日本の伝統文化を体験・観光できる地域であることを強く発信していきたいと考えております。これらにより本プロジェクトを推進し、さらには、明日の日本を支える観光ビジョンや観光立国推進基本計画に定められた政府目標の達成を目指してまいります。



※広域関東：福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県の1都10県

2. 「江戸街道プロジェクト推進ビジョン2025」（以下、「新ビジョン」という。）における「江戸街道プロジェクト」の目的及び新ビジョンの基本方針等

現行ビジョンの評価検証をふまえ、本プロジェクトの目的、ターゲットを修正し、改めて以下のとおり掲げる。また、ビジョンの位置づけを再定義するとともに、本プロジェクトの目的を達成するため、新ビジョンの当面の取組期間を定め、以下のとおり、取組の方向性、方針を掲げる。なお、取組については、実施者や関係者がイメージしやすいように、想定される取組の具体例を記載するとともに、取組の狙いや取組によって期待される効果を記載することで、取組の推進を図る。

（1）本プロジェクトの目的

自治体の境界を越えて関係者が連携し、地域を活性化させるとともに、魅力発信力を高め、付加価値を向上させることで来訪と観光消費の促進につなげ、地域が自走していき、その効果を周く地域にもたらすことを目的とする取組である。

（2）本プロジェクトにより目指すもの

人気の観光街道となっているロマンティック街道のように、インパクトがあり、誰もが知っているルート観光を目指す。

（3）本プロジェクトで扱うテーマ

本プロジェクトで扱うテーマは、他地域との差別化を図り、広域関東エリアの強みを生かすため、今日の広域関東エリアを形成する礎となった江戸時代に由来し、又は広まった施設・街道や食・文化、習慣、技術といった有形物及び無形物とする。

なお、テーマ以外の観光資源やコンテンツであっても、江戸時代の食と現代の食・旬といった対比が可能なもの、ルート観光において取扱テーマに組み込まれたり、立寄りが生じるもの、現代アートといった美的感覚が江戸時代の美意識、粋に通じ、価値観に共鳴するようなもの、江戸期の物流・交通や市場など歴史的系譜があるもの、グルメ五街道・番付といった現代的再解釈・編纂がされたものなど、江戸時代との関係性においてストーリーで補強できる場合には、この限りではない。

（4）本プロジェクトのターゲット・対象市場と設定理由

ターゲットについては、広域関東エリアの強みを生かすため、今日の広域関東エリアを形成する礎となった江戸時代や主に江戸時代に整備された五街道等に着眼し、旅行者の歴史・伝統の興味度を主軸とした以下の分類により設定する。なお、江戸街道プロジェクトに取り組む各地域の関係者・住民も重要なターゲットである。

①コアターゲット：歴史や伝統自体に高い関心がある層、深掘りしたい層とする。

- ・「江戸」に関連した歴史や伝統に高い関心ある層
- ・既に定番の歴史観光資源を訪れ、その他の地域の歴史文化にも触れたい、新しい体験をしたい層



理由：街道沿い多く存在する江戸文化や歴史文化に関連するコンテンツを生かすため。また、旅行の目的（欲求）が本質的に合致するため。

②**メインターゲット：**歴史や伝統に好意的で、興味があり、旅行において歴史や伝統も楽しみたい層とする。

理由：コアターゲットと比較して、複数地点を緩やかに楽しむような、旅行における周遊性が見込まれるため。

③**サブターゲット：**歴史自体に興味は薄く、それ自体を旅行目的としないが、旅行者の興味のあるテーマ（旅行者がやりたいこと）が庭園（知的探求）、温泉（癒し）、食と酒（グルメ）、自然散策（身体活動）、祭・レジャー（エンターテインメント）、伝統工芸体験（交流・SNS）といった誘客の切り口となるテーマと合致する場合に、導線設計により歴史につながる以下のような層。なお、テーマとの結びつき次第では、メインターゲットにもなり得る層と考えられる。

Ⅰ.アクティブシニア

理由：まち歩き等が知的探求や身体活動といった旅行目的と合致するため。

Ⅱ.各ビークルユーザー

理由：街道は高速道路や鉄道等、現在の交通網の基盤となっており、これ自体が江戸街道としてのストーリー性を有しているため。また、ローカル鉄道のように移動・周遊手段自体が旅の目的となり得るため。

○**対象市場：**国内市場並びに欧米豪市場及び台湾市場とする。

理由：欧米豪市場では、日本の文化や歴史への興味関心が強い旅行者が多いため。（観光庁「インバウンド消費動向調査（2024年）」から）また、台湾市場の訪日旅行者はリピーターが9割であり、地方への分散も顕著であるため。（日本政府観光局「JNTO 訪日旅行誘致ハンドブック」2022 から）

（5）新ビジョンの位置づけ

新ビジョンは、広域関東エリア内の各地域（地域事業者、自治体、DMO、観光関連団体、地域住民等）による本プロジェクトへの積極的な取組を促すとともに、各地域が連携・協働することで、それぞれの取組が相乗的な効果を発揮し、本プロジェクトの推進において効果的な施策となるよう、取組の方向性、方針をとりまとめたものである。

（6）新ビジョンの取組期間

新ビジョンにおける取組期間は、2025年4月から2028年3月までの3年間とし、期間終了時に取組状況を評価するとともに、新ビジョンの進捗状況等をふまえ、更新を行うものとする。

（7）新ビジョンの取組（取組の方向性）

観光地域づくり、情報発信・プロモーション、受入環境整備の3つの取組を取組



の柱として位置づける。また、これらの柱を支えるため、データの取得、活用を土台として位置づけ、強固な取組体制とする。

さらに、これらによって構築された取組体制については、不断の取組が必要であることに留意するとともに、様々なリスクに適応していく取組となるよう必要な検討を行っていくこととする。

○観光地域づくり

①面的観光の推進

取組の狙い：街道観光による線の動きを面的な動きにつなげ、地域を周遊する取組を推進していく。

取組により期待される効果：街道沿いにはない地域の取込による参加地域・取組地域の増加と取組関係者の連携促進

取組の具体例：

- ・新しい旅のスタイルの提案と定着化
- ・宿場を拠点とした歩く観光、eバイク利用促進や関係団体との連携イベントの実施
- ・移動時間が体験時間となるようなコンテンツ開発・利用の推奨、支援
- ・ストーリーの活用、及びテーマに沿った地域間の周遊連携に加え、農業体験や地域芸能、地元の祭りや年中行事など、旅行者が地域住民との交流を通じて地域を深く理解し楽しむことができる、生活文化や営みを生かした観光コンテンツの提供とコンテンツに夜間・早朝限定の体験を組み入れることによる滞在価値の向上

②支援メニュー及び支援内容の充実（共通）

取組の狙い：様々なメニューにより取組地域・事業者等を支援する。支援内容も随時更新し、充実させていく。また、個別の支援を通じて地域に共通する事業課題を把握し、総合的な支援につなげていく。

取組により期待される効果：街道関連商品数及び価値の向上、販路開拓及び販売チャネル増による商品提供機会増、並びにプロジェクト連携数の増加及び地域の課題解決

取組の具体例：

- ・取組事例集やベストプラクティス集の作成、周知、活用による事業改善
- ・事業者交流会の開催、参加による販路開拓や連携機会の増加
- ・街道観光ポータルサイトでの取組地域紹介と外部ポータルサイトとの連携
- ・専門家派遣（支援事例数増）と専門家派遣を活用した課題解決
- ・補助事業伴走支援、事業完了後のフォロー、これらを活用した事業の持続性、収益性の向上



- ・地域内活動（サロン）の実施、参加と支援による地域の中核リーダー人材の発掘・育成を通じた高付加価値商品の創出
- ・歴史的建造物のような特別な会場を利用した観光コンテンツづくり等、実証的事業の実施と事業のモデル化及び、これを参考にして地域の資源を活用した新たなコンテンツづくりを行う取組の普及
- ・本プロジェクトに関連するコンテンツと連動した二次交通の充実化、及びその支援等

③ 支援の連携（共通）

取組の狙い：観光ビジョン推進関東ブロック戦略会議等を通じて、補助メニューを整理し、他省庁等と連携することで重点的、複層的、効果的な支援とし、より効率性の高い支援により質の高い観光地域づくりにつなげる。

取組により期待される効果：取組地域に対する効果的な支援及び会議等によって得られた知見のフィードバックと活用・反映。

連携先と連携内容の具体例：

- ・伝統工芸（経済産業省）
- ・日本遺産（文化庁）
- ・地域を知る活動、学校への出張ワークショップ（文部科学省、教育機関）
- ・食（農林水産省）
- ・GREEN×EXPO 2027（国際園芸博覧会協会、農林水産省）
- ・酒蔵巡り（国税局）
- ・温泉ツーリズム（環境省）
- ・スポーツツーリズム（スポーツ庁）
- ・ガーデンツーリズム、街並みや街道の整備・保全（地方整備局） 等

④ 新たな視点による取組の推進（共通）

取組の狙い：プロジェクトに欠けていた新たな視点による取組を行うことにより、更なるプロジェクトの推進を図る。

取組により期待される効果：他の取組との相乗効果、街道関連商品のバリエーション増、新規ユーザーの獲得と既存ユーザーのフォロー

取組の具体例：

- ・地域おこしの観点から、地域物産の開発等を支援。食文化を軸に、線的、面的な広がりにつなげていく
（例：街道めし・宿場めしの開発、地域資源を活用した街道マラソンの実施、郷土食・農産物などの食資源をストーリー化（によるつなぎ、結びつけ）したまち歩きに発酵食品や温泉の体験とその文化等の学びの要素を組み入れたウェルネス要素の強い旅行商品の造成 ほか）

- ・リピーター増加の観点から、地域への再来訪のための取組を支援。特に、若年層を意識した SNS の活用と SNS と親和性が高く、商品レビュー（品質改善のための気づき）、情報発信やブランドコミュニティの構築を同時に期待できる街道観光アンバサダー制度といった制度の導入や導入支援
- ・持続可能な観光の観点からアルベルゴ・ディフーズ（分散型宿泊）と泊食分離を組み合わせることで、既存地域資源を活用し、地域コミュニティの再生と地域経済の活性化を図り、宿場町を再生する取組（参考：岡山県小田郡矢掛町における取組事例）
- ・本プロジェクトの推進と継続の観点から、地域おこしを含めた本プロジェクトの活動を支える企業等、地域のサポーターづくりや仕組みの構築 等

⑤地域の自主的取組の推進（共通）

取組により期待される効果：プロジェクト達成による地域の自走準備と速やかな自走への移行

取組の具体例：

- ・市民参加型（ワークショップ含む）事例の紹介、導入
- ・ふるさと納税の活用事例の紹介、導入
- ・その他支援事例の紹介 等

○情報発信・プロモーション

①認知度の更なる向上のための継続的な取組

取組の狙い：地域関係者は元より、国内外の旅行者の認知度を向上させるため、本プロジェクトの未認知層へのアプローチに継続的に取り組む。

取組により期待される効果：消費の動機付け、連携機会の創出。

取組の具体例：

- ・プロモーションを意識したストーリー設定
- ・テーマ等で分類した資源マップの作成、周知、活用
- ・江戸街道マップの作成及びイベント等における積極的発信、活用
- ・街道関連イベント（地域物産展ほか）を通じたプロジェクト・地域コンテンツの情報発信
- ・外部ポータルサイトに掲載する江戸街道関連情報の充実
- ・積極的なメディア広告
- ・上記を通じたパブリシティ 等

②インナーブランディング強化

取組の狙い：新ビジョンを地域に提示し、広域関東においてプロジェクトの意義等を共有することにより、連携の広域化と深化を推進するとともに、国内外の旅行者への訴求力を高める。



取組により期待される効果：取組基準の明確化による参加判断の容易化、参加地域の増加、連携の広域化。
商品価値・国内外の旅行者への訴求力向上とブランド価値の向上。

取組の具体例：

- ・ブランドストーリーの明確化
- ・ロゴマーク使用事例の紹介による取組イメージの共有
- ・取組（成功事例）における地域事業者等の経験談のストーリーテリング 等

③ 支援メニュー及び支援内容の充実（再掲）

2. (7) ○観光地域づくり②に同じ

④ 支援の連携（再掲）

2. (7) ○観光地域づくり③に同じ

⑤ 情報発信ツールの整備及びプロモーションの連携

取組により期待される効果：複数機関による情報発信を通じた広域関東地域や街道観光関連商品の露出機会増と国内外の旅行者への訴求

取組の具体例：

- ・街道観光ポータルサイトの定期更新によるサイト情報充実化とSNSの活用
- ・外部ポータルサイト立ち上げ支援（サイト整備）と同サイトにおける街道観光関連商品の充実化
- ・各種街道観光関連イベントの実施（後援名義による支援等を含む）
- ・テーマ別広域モデルルートの構築とセールスコールによる効率的、かつ、確実なアプローチ強化、支援
- ・広報強化を兼ねた募集型ファミツアーの実施や旅行博の共同出展、支援
- ・その他、各種プロモーションに関する関係者との連携 等

⑥ 新たな視点による取組の推進（再掲）

2. (7) ○観光地域づくり④に同じ

⑦ 地域の自主的取組の推進（再掲）

2. (7) ○観光地域づくり⑤に同じ

○ 受入環境整備

① 支援メニュー及び支援内容の充実（再掲）

2. (7) ○観光地域づくり②に同じ

② 支援の連携（再掲）



2. (7) ○観光地域づくり③に同じ

③新たな視点による取組の推進（再掲）

2. (7) ○観光地域づくり④に同じ

④地域の自主的取組の推進（再掲）

2. (7) ○観光地域づくり⑤に同じ

○各種データの把握

取組の狙い：プロモーションによるメディア露出、関連サイト・SNS等、街道観光に関する認知度や反応といった取組の効果を測るためのデータ取得、共有と街道関連コンテンツ数といった本プロジェクトを推進する上での基礎的データの把握・整理を行い、今後の展開の検討素材とする。

また、エリアの消費拡大のための施策を効果的に発揮させるべく、情報共有をはじめ、広域連携DMOと連携する。

取組により期待される効果：ターゲットと消費傾向、周辺環境の把握を通じた合理的な施策の実施。

取組の具体例：

- ・街道関連イベントに併せた認知度調査の実施
- ・街道観光ポータルサイトのAU数等分析
- ・街道、テーマごとの関連コンテンツ数の把握、整理
- ・SNSフォロワー数・属性等、ターゲットの分析
- ・広域連携DMOからの関連データ取得、分析
- ・宿泊地におけるAIコンシェルジュ（着地型情報発信）等、新しいツールの導入促進等

○今後の取組の検討

2026年度更新版観光立国推進基本計画に留意するとともに、観光産業にとって大きなリスクとなる災害、感染症、不況に負けない、影響を受けにくい旅行環境や域内調達率に配慮した持続可能な事業環境を構築し、循環型社会の実現、持続可能な社会の実現を目指し、これに寄与していくための取組を検討する。

(8) 総合的な取組により期待される共通のメリット

toB：観光を横串にした地域の課題解決、地域の活性化、付加価値の向上による地域への還元／持続可能な観光の確立。起点だけでなく、終点や途中地点でも宿泊の機会が生まれる。きら星からきら星への移動において、途中にある資源への立ち寄り観光が生まれる。全てのルートを踏破したいリピーターが現れる。（リピーターの獲得）旅行会社や訪日旅行者は、訪日を単単位では捉えておらず、広域ルートとして魅力が多いことが重要であり、広域で

連携した上で、外国人目線にたったエリア単位での発信を行うことにより、一度にたくさんの魅力に訴求でき、国外の競合地域に優る魅力発信に繋がり、プロモーションを大きな規模で共同実施することで、有力な旅行会社・メディア等の招請者選定が期待される。

toC：付加価値の向上した旅行の提供による新しい価値の享受。旅行者にルートの大まかなイメージ（江戸情緒、地図上のルート）が定着することで、訪日旅行の定番ルートとして、安心感に繋がる。江戸街道周辺は、基本的に新幹線・特急・高速道路のルートで、交通利便性も高く、旅行先として選びやすい。

3. 参考 現行ビジョンの評価検証結果

(1) 各取組の評価

① 連携の契機となる街道ごとのストーリー設定

取組状況：

知名度が高くない地域資源の魅力を磨く事が消費者の来訪意欲を促すために重要である為、地域資源を名称や写真に加え、他との違いや潜在価値等でストーリーとして可視化するべく、江戸街道プロジェクトの概要、取組の目的を紹介する江戸みちマップ（イ）を作成した。

また、リーフレット「いざ！江戸街道プロジェクト」（ロ）を街道ごとに作成し、街道の由来や街道沿いのコンテンツ紹介をするとともに、こうした活動を周知するため、関東運輸局HPに掲載を行った。



①. リーフレット「いざ！江戸街道プロジェクト」

東海道／日光・奥州街道／中山道／甲州街道の五街道について紹介。
また、宿場・歴史・温泉・食といった様々な切り口から地域における企画、商品化を想定し、観光コンテンツだけでなく、これらを取り扱った街道観光の実際の取組についても紹介することで街道観光への取組の広がりを図っている。

【江戸街道プロジェクトとは】
https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/kankou/kankou/edokaido_project.html

課題：

数あるコンテンツに対して一例しか紹介できておらず、また、掲載された観光コンテンツについても、すでに知名度の高いものが含まれており、知名度の高くない地域資源の魅力紹介という観点では取組不十分となっている。さらに、街道観光の認知度を向上させ、来訪意欲を促すためにストーリーを設定すべきところ、単なる観光地の紹介にとどまっている。

展望、現行ビジョン更新に向けた取組等の留意点：

街道観光に取り組む地域と成功事例（高付加価値化）を経験談や苦労した点とともに紹介し、それ自体をストーリーにする。

（魅力はあるが、）知名度が高くない地域資源は、資源自体の魅力発信とともにテーマごとに分類、整理した資源マップの作成、一元発信により認知度を高める。魅力の磨き上げ（付加価値の向上）については、地域の関係者が主体的に行いつつ、資源の新しい楽しみ方（映え等SNSを意識、街道という言葉から想起される散策以外の旅のスタイル）を提供・伝える工夫をする等、官民協働で取組みを深化させる。

②ロゴマークの活用と展開による気運の醸成

取組状況：

関東運輸局が主催する本プロジェクト関連イベント（Ⅷ）において、ロゴマークを使用し、認知度を高めた。また、ロゴマークの使用に関する要領を定めるとともに、関係者へ本プロジェクトの説明、参画依頼を行い、事業に関連した地域関係者の取組

や旅行商品へのロゴマークの積極的な活用を依頼し、その普及に努めた。
 そのほか、プロジェクトの意義と目的を広く理解してもらうため、「江戸街道プロジェクトシンポジウム」(二)を実施した。(参考 参加者：182名)

ハ. プロジェクト関連イベント「江戸街道ぶらり旅」



▲物販コーナー



▲ステージイベント



◀体験コーナー

旧五街道の起点であり、街道の象徴でもある日本橋にて、街道観光を広く周知し、地域還元が出来るような地域PR物産展を2日に渡って実施。

そのほか、江戸街道の紹介のための展示パネル設置、ステージイベントの開催、観光パンフレットの配布を合わせて行い、B to C イベントを盛り上げた。

実施場所：江戸桜通り地下歩道
 来場者数：のべ1000人

二. 「江戸街道プロジェクトシンポジウム」、「街道観光シンポジウム」



▲江戸街道プロジェクトシンポジウム
 街道が果たした役割に関する基調講演のほか、箱根八里の取組等の事例発表、街道観光による地域振興をテーマとしてパネルディスカッションを実施。



◀街道観光シンポジウムの様子。
 江戸料理や宿場町のアルベルゴ・ディフーズ化に関する基調講演、パネルディスカッションを実施した。



<パネルディスカッション>

課題：

地域関係者の取組が本プロジェクトに合致するかどうかの判断基準の設定が不十分であり、結果としてプロジェクトに取り組む地域事業者等へのインナーブランディングが不十分となっている。

また、個別商品のプロモーションについては地域事業者が行うことになるが、造成され

た商品がビジョンで定めたターゲットに必ずしも対応していない。

展望、現行ビジョン更新に向けた取組等の留意点：

インナーブランディング強化のため、ストーリーの設定による取組のイメージ付けを行う。

③ニーズとターゲットに対応したプロモーションの推進

取組状況：

現行ビジョンにおいて、ターゲットを街道観光に関心のある幅広い層とし、特に日本人旅行者を前提として、歴史が好きな女性や健康志向の高齢者、車・鉄道・自転車を利用するユーザーを、また、訪日外国人旅行者については、日本の伝統文化や歴史に関心のある欧米豪の市場と定めた。

また、令和5年度及び6年度に実証事業を行い、街道観光の情報発信ツールに求められる機能を整理するとともに、関東運輸局において「街道観光ポータルサイト（江戸街道プロジェクト・ホームページ）」（ホ）を立ち上げた。

ホ. 街道観光ポータルサイト（江戸街道プロジェクト・ホームページ）
<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/kankou/kankou/edokaidoportalsite/index.html>



各街道周辺のコンテンツをまとめた観光マップや宿場町の魅力を紹介する特集記事を掲載。その他、モデルコースを掲載する等、情報発信を行っている。

課題：

現行ビジョンでは、国内旅行者のターゲットを歴史が好きな「女性」に絞っているものの、男性と比較して旅行経験率の高い女性の嗜好（興味の分野）に関するデータが不足していること、及び女性と比較して旅行経験率が低い男性に対してのアプローチ（による市場の伸び）の分析が弱いことをふまえると、ターゲットの範囲がやや狭い。

また、ターゲットに応じたプロモーションの推進を現行ビジョンで定めているが、若年層を前提としたSNSの活用については、ターゲットとズレがあり、推進方法の例示としても、やや不適のため、修正が必要となっている。

プロモーションについては、令和7年度から本格的に取り組みを行っていくことから、

2027年に開催される「GREEN×EXPO 2027」を契機として広域関東の周遊観光を促進させるため、こうしたイベントと連携して早期にプロモーションを行うことが必要。

展望、現行ビジョン更新に向けた取組等の留意点：

ターゲットについて、修正を行う。特に訪日外国人旅行者の対象市場の想定については、広域連携DMOと誘客のための戦略を共有し、共通するターゲットをふまえたものに修正する。

また、プロモーションに当たっては、ターゲットに応じたものとする。

若年層については、潜在的需要がある未認知層に位置づけ、未認知層へアプローチするための見せ方、（売出し）方法についてSNSを活用していく。

「GREEN×EXPO 2027」の開催を見据え、令和7年度に実証事業を行う。

実証事業については、街道観光の促進につながる内容とする方向で取り組む。

プロモーションについては、その効果を最大限に発揮するため、地域ごとに発信するのではなく、広域関東として、関係者と連携しながら情報を発信していく。

街道関連イベントの開催に向けて取り組む。

④ 既存の街道関連団体との協働と連携組織の拡大

取組状況：

宿場を巡る、いわば点を線にする旅の仕掛けとして、御宿場印めぐり（ハ）のような取組が行われており、こうした取組は同時に街道観光のリピーターを獲得する理想的な取組であることから、連携の好事例として様々な機会に紹介を行っている。

ハ. 御宿場印めぐり

コロナ禍における地域経済活性化を狙い、日光街道・日光西街道を来訪した証しとして、日本橋を起点とした街道沿いの各地域（宿場）にて「御宿場印」を販売し、マイクロツーリズムのきっかけとしてもらう取組。

その後、各地の信用金庫が中心となって呼びかけを行い、会津西街道、東海道、甲州街道、奥州街道、中山道の順に事業が展開されていき、地域の連携に広がりを見せた取組となっている。



課題：

既存の街道関連団体の大会に参画しているが、運輸局としての成果といえるだけの具体的成果に乏しい。

点（宿場）を線にする観光スタイル（街道観光）のさらなる推進とともに、宿場等を起点として地域資源の散策を行うような、面的な観光スタイルの推進に関する取

組が弱いことから、こうした観光スタイルを推進する取組や取組への支援が必要となっている。

旅のスタイルという点では、都心部を拠点として、日帰りで旅行するスタイルが定着しつつあり、地方部へ宿泊させる仕掛け、例えば地方部におけるナイトタイムエコノミーの創出、温泉旅館等のプロモーションや商品造成といった取組が途上の傾向にある。

展望、現行ビジョン更新に向けた取組等の留意点：

新しい旅のスタイルの提案。

好事例、成功事例；連携の見本；を増やし、積極的に情報発信していく。

面的な観光スタイルの確立により、同時に江戸街道沿いにない魅力的な観光コンテンツの取込、連携を狙う。

地域資源活用＋夜間における怪談のような過年度実証事業をアレンジしたナイトタイムエコノミーの創出等、新たな事例創出、展開を図り、地方部でのナイトタイムエコノミーを充実させる。

⑤地域の取組や人材育成に対する支援

取組状況：

地域が抱える課題解決のため、有識者と地域をマッチングさせ、令和4年度に4地域、令和5年度に2地域（令和6年度は対象地域継続）の課題解決支援（ト）を行った。

また、街道観光に取り組む地域の人材育成を目的として実践オンラインセミナー（チ）を令和4年度に6回、令和5年度に4回、計10回開催した。（合計申込者数1,740名）

さらに、有識者を交えた情報・意見交換により事業の課題解決を図り、連携の促進の機会とする場として江戸街道関連事業者交流会（リ）を令和6年度に開催した。（参考 参加団体等18団体 約40名）

ト. マッチング・専門家派遣

チ. 実践オンラインセミナー

リ. 江戸街道関連事業者交流会



専門家派遣事業

古民家ホテル視察時の様子。本プロジェクトのアドバイザー・会議委員が有識者として活躍。



実践オンラインセミナー

R4 は地域資源掘り起こし、組織作り、情報発信、財務戦略等の講演。8割以上の参加者から「役に立った」との回答があり、好評を博した。



事業者交流会

情報交換はもとより、販路開拓等、新たな連携の機会創出にもつながっており、継続開催が求められる。

課題：

専門家派遣による支援事例が少ない。街道観光に関する地域でのワークショップや連携のための異業種間サロンの開催といった地道な活動、地域の人材育成につながる支援メニューが少ない。

展望、現行ビジョン更新に向けた取組等の留意点：

課題解決支援のための継続的取組とともにベストプラクティス集の作成、周知による課題解決の促進を図る。

また、観光ビジョン推進関東ブロック戦略会議を活用して、本プロジェクトを周知し、関連取組状況の把握、課題共有と整理を行い、街道観光に取り組む各地域の受入環境を効果的に整備・支援し、地域の取組を加速させる。

他省庁との連携深化。

⑥実証事業の実施によるモデル事例の構築

取組状況：


関東運輸局においては、令和5年度実証事業として、地域に伝わる伝説や逸話を活用したインバウンド向けの英語講談会を企画・開催し、誘客促進の効果を検証し、事業のパッケージ化、他地域への横展開のための取組事例集として「歴史文化資源を活用した地域誘客促進企画～ Senju Model～」(ア)を関東運輸局HPへの掲載等により周知をした。

また、「GREEN×EXPO 2027」へ向けて、GREEN をテーマとした地方誘客促進のための実証事業を令和6年度に実施し、ツアーに歴史資源を組み込むことで江戸街道と関連させた推奨モデルルート (b) を構築した。

ア. Senju Model

事業コンセプトに応じたイベント開催場所の選定・ターゲットに見合ったイベント内容の決定といった実施面でのポイントをまとめるとともに、継続的なコンテンツづくりのための課題点、自走化のための概算費用（参考値）等を掲載し、取組事例として紹介。

ル. 推奨モデルルート（R6 実証事業）



成田～水戸
大宮～宇都宮～日光
横浜～伊勢原

江戸街道沿いで体験できる伝統文化や自然景観等のコンテンツをバランスよく取り入れた推奨ルートとなっている。

課題：

伝説・逸話を利用した実証実験により課題の洗い出し及び評価検証による事業のパッケージ化と横展開を図ったが、他地域での取組の広がりにつながらない。テーマごとの磨き上げポイントやテーマに関わらない普遍的な磨き上げポイント、マーケットインの磨き上げ等、運輸局においても知見が不足しており、更なる知見の積み上げが必要。

※造成した観光コンテンツの個別の磨き上げのための消費者による評価検証や課題の洗い出し作業は、地域関係者によって実施されることが前提。

展望、現行ビジョン更新に向けた取組等の留意点：

令和7年度実証事業の検証と検証結果の周知。
地域関係者の自主的取組推進。

⑦補助金等を活用したコンテンツ造成等の推進

取組状況：

観光庁補助事業を活用し、本プロジェクト関連案件の造成（伴走）支援を行っている。

R5 補正事業（7） 特別体験 6 件、新発見 15 件

7. 特別体験、新発見

<p>江戸料理に手しごと伝統工芸など江戸尽くし！江戸・日本橋に最も近い宿場町「千住宿」で江戸を味わうガイド付き街道回遊コンテンツ造成事業（千住宿街道観光活用実行委員会）</p>  <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安田大サーカスの団長と行く！「千住宿」の文化と伝統工芸を楽しむ！江戸街道日帰り歩きツアー 芸人ガイドの解説とともに街道ゆかりの場所や千住の穴場スポットをめぐる一般参加型のモニターツアー。千住の探検事業者同士で連携。 (実施日11月30日：参加者 15名 12月7日：参加者 12名) ●松竹芸人おもてなし 千住宿まち歩きウォーキングツアー 別の芸人ガイドによる3時間に短縮したツアー (実施日2月1日：事業者自主主催 参加者 5名) 	<p>東海道53次3番目の宿場町「神奈川宿」に眠るお宝発見！横浜ディスカバリープロジェクト！（神奈川宿観光利用促進委員会）</p>  <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●神奈川宿に眠るお宝発見ガイド付きツアー 開港期の神奈川宿をテーマに歴史的遺産や文化（神奈川神楽）をガイド付きでめぐるモニターツアー (実施日10月29日：参加者 約15名) ●横浜芸者と下田芸者によるコラボレーションディナーショー＆神奈川宿歴史講座 宿場町の歴史的遺産や文化（横浜芸者等）を再発見するモニターイベント (実施日12月27日：参加者 約15名) 	<p>日光街道・日光西街道ご宿場印プロジェクト～各ご宿場での着地型コンテンツ造成とデジタル版日光街道・日光西街道ご宿場印スタンプラリー開発～（東武鉄道株式会社）</p>  <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●デジタル版 日光街道・日光西街道 宿場印スタンプラリー 江戸街道プロジェクトおよび宿場印プロジェクトと連携。千住宿から日光宿に至るまでの9つの宿場をはじめ、周辺の駅や神社などを巡り、地域に根差した文化や歴史に触れたり、地域の名産品を楽しむスタンプラリー (開催期間 11月1日～1月13日) (参加者 580名) ●メディア露出 テレビ埼玉「埼玉ビジネスウォッチ」特集にて紹介。スタンプラリーの様子や江戸街道プロジェクトとの連携について放送。 YouTubeテレビ玉NEWS内で、アーカイブ配信中 https://www.youtube.com/@teletama_news (12月14日(土)、12月15日(日)放送)
--	--	---

全体総括：事業実施の結果、大まかに次のような課題が挙げられており、事業の継続性の観点から、これら課題に対する支援方針の検討と支援メニューの充実が必要と考えられる。

- ①コンテンツ設計、②プロモーション、③販売・運営体制、④人材・地域体制、⑤価格設定・収益性

7. 特別体験、新発見

<p>江戸街道プロジェクトによる日本橋での江戸文化体験と五街道を中心とした街道観光への誘い（江戸街道プロジェクト実行委員会）</p>  <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●OH！江戸東京まつり 旧五街道の起点だった日本橋・銀座エリアで、インパウンドに向けた質の高い本物の江戸文化を体験できるイベントを展開。 総合プロデューサーは、世界的演出家である宮本亞門氏。各コンテンツでの第一人者から指導を受けられるイベント、ガイド付ツアー、伝統工芸品の展示を行った。 (実施期間10月4日～11月3日) (ツアー及び全イベント合計参加者 7,718名) 	<p>将軍の日光社参を再現！「徳川吉宗公献上料理」と川口宿での江戸体験（本町1丁目まちづくり協議会）</p>  <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●外国人有識者参加のモニターツアー インパウンド向けに日本在住の外国人を招聘し、意見交換会を行った。 (実施日10月26日：参加者 13名) ●吉宗公献上料理・瀧山結束体験ツアー 徳川将軍の日光社参の休憩所湯島にて、吉宗公が食べたレシピを基にした昼食体験や、大奥ゆかりの再現装束の着用体験を組み込んだツアー。 (実施期間11月5日～2月5日) (参加者合計 59名) 	<p>くまま温泉街道～日本の温泉王国・くまの七大温泉で江戸時代の「湯治文化」の真髄を体験（群馬県）</p>  <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●くまま七大温泉湯めぐりフェア 江戸街道プロジェクトのビジョンをベースに、江戸期より栄えた群馬の七大温泉地を「くまま温泉街道」として結んだくま温泉フェアを開催。 湯めぐり手形の販売や湯めぐりバスの運行のほか、各温泉地では地域の特色をいかしたイベントが実施された。 (実施期間 1月6日～2月4日) (延べ利用者数 1,330名)
--	--	--

課題：

旅行商品の造成に力点がおかれ、地域物産の開発といった地域おこしの視点が欠けている。

また、補助事業完了後のフォローが不十分であり、街道関連商品数の増加に寄与

しないおそれがある。

街道ごとの商品造成数の把握が不十分であり、街道コンテンツの偏りについてフォローができていない。

ロングストーリー事業のように広域を周遊する事業補助について、江戸街道関連の事業が採択されることを狙い、既存の取組地域の魅力向上をさらに図ることが必要。

展望、現行ビジョン更新に向けた取組等の留意点：

プロジェクト全体のデータ把握を行う。また、事業の収益性、持続性向上のための観光庁事業の活用や補助事業のフォローを行う。

⑧フォーラム等の開催による認知度の向上

取組状況：

セミナー、シンポジウムを開催するとともに、リーフレット「いざ！江戸街道プロジェクト」を作成した。（再掲）また、街道観光をテーマとしたインバウンドフォーラムを開催した。

課題：

国内外の旅行者のプロジェクト認知度把握方法（ツール）がない。本プロジェクト及びこれに関する各種データの把握が不十分であり、街道観光の認知度についても同様の状況にある。

展望、現行ビジョン更新に向けた取組等の留意点：

露出機会を増大させるべく、戦略的、積極的な取材機会を創出（取材協力依頼）。

作成した江戸街道マップの掲載、積極活用による認知度向上。

街道イベントを活用した認知度把握や観光庁補助金を活用した江戸街道関連旅行商品について、外部機関におけるポータルサイト（以下、「外部ポータルサイト」という。）立ち上げ支援と各種分析を含めた広域連携 DMO や日本観光振興協会との連携。

（２）総評

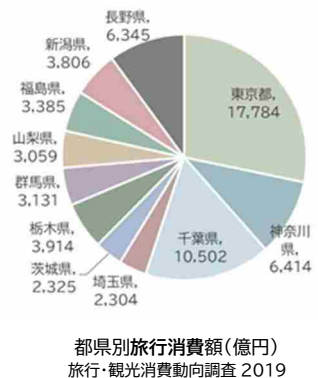
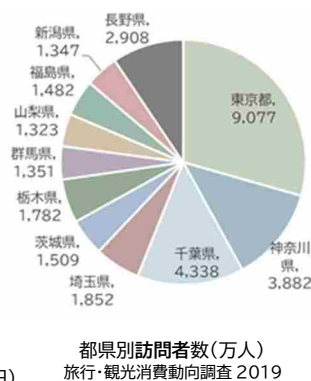
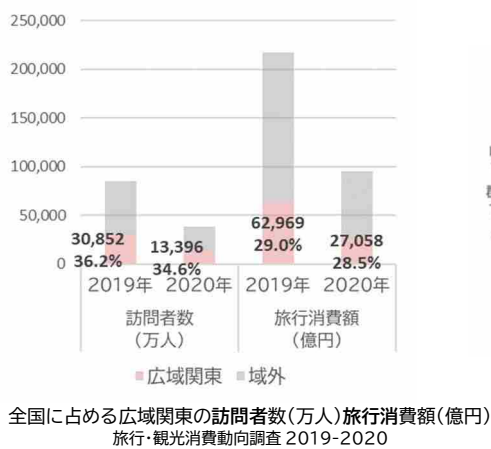
上記の各取組について、引き続き取組が必要なものを継続的に行うとともに、現行ビジョンの推進により明らかとなった課題について対応が必要となっている。また、旅行において一般的に重視されると考えられる食をフックにした取組が弱い。江戸料理という観点で発展させることが難しいため、これを整理した上で、取組の新たな方向性を示し、推進することが必要。その他、国内外の旅行者へ街道観光のイメージ付けをした時に、アスファルトで舗装された道路、現代の街並みを単に歩くだけでは江戸の趣を感じられず、旅行者にとって期待外れになる可能性もあるため、イメージとの乖離が生じないような工夫、取組が求められる。

4. 参考 広域関東観光の現状と課題

(1) 広域関東観光の概況

旅行・観光消費動向調査によると、コロナ禍前の2019年の広域関東エリアでは、日本人国内旅行による訪問者数が延べ3億人超で全旅行者の36.2%を占めており、その観光消費額も約6.3兆円と全体の29.0%を占めていた。

ただし、その過半数は東京、神奈川、千葉の3都県に集中しており、エリア全体の観光振興の観点から、他地域への周遊促進が課題と言える。



また、訪日外国人消費動向調査によると、コロナ禍前5年間における広域関東エリアの訪日外国人旅行者の消費額の伸びは、関西エリアや中部エリアに比べ低くなっており、訪日外国人旅行者の消費の取り込みの面で課題があったと言える。

広域連携 DMO エリア別外国人消費指数の推移
(2015=100とした場合の相対値)
訪日外国人消費動向調査 2015-2019



(2) アフターコロナの動向

コロナ禍で国内旅行は大きく低迷したものの、国の全国旅行支援などにより、2022年の日本人国内延べ旅行者数は4億人超となり回復傾向にある。また、訪日外国人旅行者に関しても、昨年10月からの入国者数の上限撤廃、短期滞在者のビザ免除等によって堅調に回復し、さらに本年3月から中国に対する新型コロナウイルスの水際対策が緩和されたことから、今後は最大の訪日旅行者数を占めていた中国からの来訪も復活するものと想定される。

5. 参考 広域関東観光のポテンシャル

豊かな山海の自然に囲まれている広域関東エリアには、国内有数の観光地や温泉地、江戸文化が花咲いた歴史・文化のほか、まだ知られていない地域資源も含めコンテンツが豊富にある。また、エリア内には高度に整備された鉄道・バス・高速道路ネットワークがあり、東京を起点にすればほとんどの観光地に2～3時間程度でアクセスできる環境にあるため、周遊観光のポテンシャルは非常に高い。

さらに、国内を代表するゲートウェイである成田・羽田の国際空港があり、訪日外国人旅行者の誘客にも有利である。

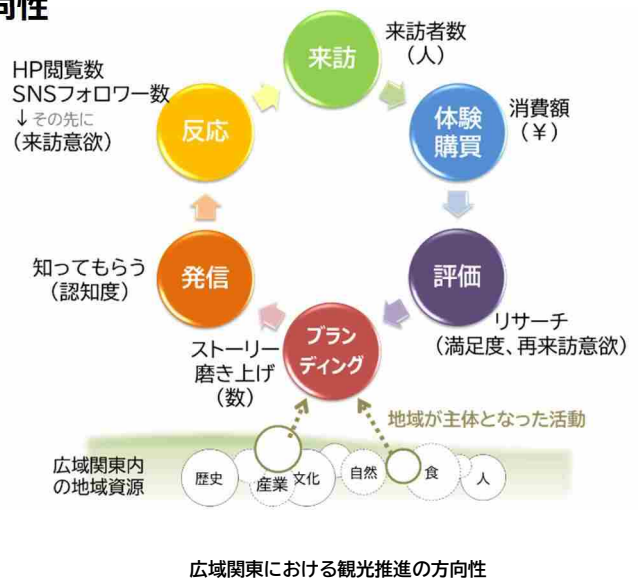
一方で、アクセスの良さゆえに、地方部における観光は日帰りを中心となる傾向がみられ、観光客の偏在化に対する対策も考える必要がある。

6. 参考 広域関東における観光推進の方向性

域内に潜在する地域資源を磨き、ブランディング（イメージづけ）することで、情報発信力を高め、国内外の多くの方々に認知され、訪れてもらい、そして体験（消費）してもらう。

そしてその評価がさらにブランド価値を高め、さらなる来訪を促す、そういった循環を目指す。

そのためには、域内全体が意識を共有できるブランディングが重要であり、長期的な取組により広域関東に浸透させていく。



- 広域関東における観光資源の総合的なブランディングを図ることを目的として、地域ごとの観光資源を共通のテーマとストーリーで結びつけ、トータル的な発信力の強化につなげることが重要である。
- 文化遺産や自然環境へ配慮しつつ、観光と経済が融和した持続可能な観光を目指しながら、広域関東エリア全体、津々浦々への周遊拡大、観光消費額の増大といった循環を形成することが重要である。

7. 参考 広域関東の新たな観光振興策「江戸街道プロジェクト」

広域関東観光のブランディングに向け、他との差別化やマーケティング優位性につながる統一的なイメージ戦略として、このエリア形成の礎となった江戸時代に焦点をあて“江戸街道”をブランディングのキーワードとする取組を推進する。



8. 参考 アドバイザリー会議における委員発言要旨

(第1回) 令和5年6月8日

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000300893.pdf>

(第2回) 令和5年10月25日

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000307264.pdf>

(第3回) 令和6年3月11日

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000322575.pdf>

(第4回) 令和6年6月18日

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000329472.pdf>

(第5回) 令和6年12月3日

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000339280.pdf>

(第6回) 令和7年3月13日

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000347920.pdf>

江戸街道プロジェクトアドバイザー会議要綱

(名称)

第1条 本会議は、「江戸街道プロジェクトアドバイザー会議」（以下「アドバイザー会議」という。）と称する。

(目的)

第2条 「江戸街道プロジェクト推進ビジョン 2025」に基づき具体的にプロジェクトを推進し、広域関東における街道観光振興推進施策を含む江戸街道プロジェクト全体について検討するため、アドバイザー会議を設置する。

(組織)

第3条 アドバイザー会議は座長、委員及び顧問をもって構成する。

- 2 委員及び顧問は、別紙のとおりとする。
- 3 座長は、事務局の推薦及び委員の確認により定める。
- 4 座長は、アドバイザー会議の議長となり、議事の進行にあたる。
- 5 委員及び顧問の任期は、令和8年3月31日までとする。

(委員の代理出席)

第4条 座長は、委員が、やむを得ない事由によりアドバイザー会議に出席できない場合であって、かつ、当該委員から申し出があったときは、当該委員を代理する者の会議への出席を認めることができる。

(委員以外の者の出席)

第5条 座長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、アドバイザー会議に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

(資料の公開)

第6条 アドバイザー会議の資料は原則として公開とする。ただし、公開することが不適切なものについては座長の判断で非公開にできる。

(事務局)

第7条 アドバイザー会議の事務局は、関東運輸局観光部に置く。

(その他)

第8条 本要綱に定めるもののほか、アドバイザー会議の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

(附則)

本要綱は、令和5年6月8日から施行する。

本要綱は、令和6年6月18日から一部改正して施行する。

本要綱は、令和7年6月25日から一部改正して施行する。

(別紙)

「江戸街道プロジェクトアドバイザー会議」

顧問・委員名簿（敬称略・順不同）

顧 問

谷口 博昭 一般財団法人 国土政策研究会会長
元国土交通事務次官

委 員

丁野 朗 公益社団法人 日本観光振興協会顧問

高橋 佑司 株式会社リクルート 地域創造部部長

宮崎 俊哉 株式会社三菱総合研究所 主席研究員

山崎 まゆみ 跡見学園女子大学 兼任講師

ルース・マリー・ジャーマン 株式会社ジャーマン・インターナショナル
代表取締役社長

古賀 方子 特定非営利活動法人 全国街道交流会議 専務理事

土屋 武司 足立成和信用金庫 理事長

井上 成美 一般社団法人 日本ウォーキング協会 事業統括専務理事

亀山 秀一 株式会社 JTB 総合研究所 主席研究員

岡村 清二 一般社団法人 ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構
相談役

藤田 礼子 国土交通省 関東運輸局長

江戸街道プロジェクトアドバイザー会議要綱 新旧対照表

新（修正案）	旧
<p style="text-align: center;">江戸街道プロジェクトアドバイザー会議要綱</p> <p>（名称）</p> <p>第1条 本会議は、「江戸街道プロジェクトアドバイザー会議」（以下「アドバイザー会議」という。）と称する。</p> <p>（目的）</p> <p>第2条 「江戸街道プロジェクト推進ビジョン 2025」に基づき具体的にプロジェクトを推進し、広域関東における街道観光振興推進施策を含む江戸街道プロジェクト全体について検討するため、アドバイザー会議を設置する。</p> <p>（組織）</p> <p>第3条 アドバイザー会議は座長、委員及び顧問をもって構成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員及び顧問は、別紙のとおりとする。 3 座長は、事務局の推薦及び委員の確認により定める。 4 座長は、アドバイザー会議の議長となり、議事の進行にあたる。 5 委員及び顧問の任期は、令和8年3月31日までとする。 <p>（委員の代理出席）</p> <p>第4条 座長は、委員が、やむを得ない事由によりアドバイザー会議に出席できない場合であって、かつ、当該委員から申し出があったときは、当該委員を代理する者の会議への出席を認めることができる。</p>	<p style="text-align: center;">江戸街道プロジェクトアドバイザー会議要綱</p> <p>（名称）</p> <p>第1条 本会議は、「江戸街道プロジェクトアドバイザー会議」（以下「アドバイザー会議」という。）と称する。</p> <p>（目的）</p> <p>第2条 「江戸街道プロジェクト推進ビジョン 2023」に基づき具体的にプロジェクトを推進し、広域関東における街道観光振興推進施策を含む江戸街道プロジェクト全体について検討するため、アドバイザー会議を設置する。</p> <p>（組織）</p> <p>第3条 アドバイザー会議は座長、委員及び顧問をもって構成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員及び顧問は、別紙のとおりとする。 3 座長は、事務局の推薦及び委員の確認により定める。 4 座長は、アドバイザー会議の議長となり、議事の進行にあたる。 5 委員及び顧問の任期は、令和8年3月31日までとする。 <p>（委員の代理出席）</p> <p>第4条 座長は、委員が、やむを得ない事由によりアドバイザー会議に出席できない場合であって、かつ、当該委員から申し出があったときは、当該委員を代理する者の会議への出席を認めることができる。</p>

(委員以外の者の出席)

第5条 座長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、アドバイザー会議に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

(資料の公開)

第6条 アドバイザリー会議の資料は原則として公開とする。ただし、公開することが不適切なものについては座長の判断で非公開にできる。

(事務局)

第7条 アドバイザリー会議の事務局は、関東運輸局観光部に置く。

(その他)

第8条 本要綱に定めるもののほか、アドバイザー会議の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

(附則)

本要綱は、令和5年6月8日から施行する。

本要綱は、令和6年6月18日から一部改正して施行する。

本要綱は、令和7年6月25日から一部改正して施行する。

(委員以外の者の出席)

第5条 座長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、アドバイザー会議に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

(資料の公開)

第6条 アドバイザリー会議の資料は原則として公開とする。ただし、公開することが不適切なものについては座長の判断で非公開にできる。

(事務局)

第7条 アドバイザリー会議の事務局は、関東運輸局観光部に置く。

(その他)

第8条 本要綱に定めるもののほか、アドバイザー会議の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

(附則)

本要綱は、令和5年6月8日から施行する。

本要綱は、令和6年6月18日から一部改正して施行する。

本要綱は、令和7年6月25日から一部改正して施行する。



日光・奥州街道、佐倉・成田街道、水戸街道 / GREEN旅



資料5

～春の旧街道と花めぐりの旅～

Route



Highlights

- ◆ 城下町や宿場町、蔵の街並みを歩き、江戸から続く関東の歴史と暮らしに触れる。
- ◆ 筑波山麓や園内に咲く桜、桜並木の道をサイクリングや散策で巡り、春ならではののよわらかな空気を五感で感じる。
- ◆ 食や香り、ワインを通じ、土地の恵みに触れ、地域に根ざした食文化を味わう。

Day 1

佐倉駅 発

車 5分

徒歩 15分

AM



① 城下町きもの散策

江戸時代に城下町として栄えた佐倉の町を着物で散策。庭園や武家屋敷、竹林、佐倉城址公園を巡り、武士文化の面影を感じる。

電車 60分

PM



② 千住宿

江戸時代に宿場町として栄えた旧日光街道沿いの千住宿をガイドと共に歩き、足立市場では新鮮な魚介を使った市場ならではの昼食を堪能。



② 足立市場

電車 60分



③ 蔵の街遊歩道

巴波川沿いに立ち並ぶ重厚で美しい蔵の街の景観を眺めながら、情緒ある街並みを散策。

粕木市内 泊

Day 2

栃木駅 発

電車 30分

AM

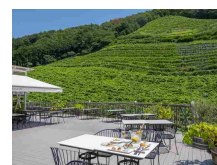


④ あしががフラワーパーク

日本有数のフラワーパーク。園を代表する「ふじのはな物語」で350本以上のふじの花を鑑賞。(4月中旬～5月上旬が見ごろ)

車 30分
OR
電車+バス 60分

PM



④ ココ・ファーム・ワイナリー

障害者支援施設「こころみ学園」と共に日本ワインの文化を築いてきたワイナリーにて、ソーシャルファームとしての取り組みに触れながら、ワインと昼食を味わう。



車 90分

筑波山周辺 泊

Day 3

筑波山周辺 発

車 30分



⑤ 筑波山神社・筑波山ロープウェイ

日本百名山の一つ筑波山の信仰と豊かな自然を体感。山頂駅からは関東平野を一望する雄大な景色を満喫。



⑥ いばらきフラワーパーク

約900品種のバラが咲き誇る花の楽園。香りをテーマにした展示やバラのアロマミスト作り体験を通じて、五感でバラの魅力を味わう。

車 40分



⑦ 霞ヶ浦サイクリング

整備された平坦で走りやすい道を走りながら、季節の自然や風景を感じる。春には桜並木が美しく心地よいサイクリングを満喫。(3月下旬～4月上旬が見ごろ)



徒歩 15分



⑦ 土浦宿

水運の拠点として栄えた土浦宿の歴史ある町並みを散策。土浦城や中城通りを巡り、江戸時代の面影と文化に触れる。

徒歩 15分

土浦駅 着

GREEN : GREEN (花・緑・自然) 体験コンテンツ

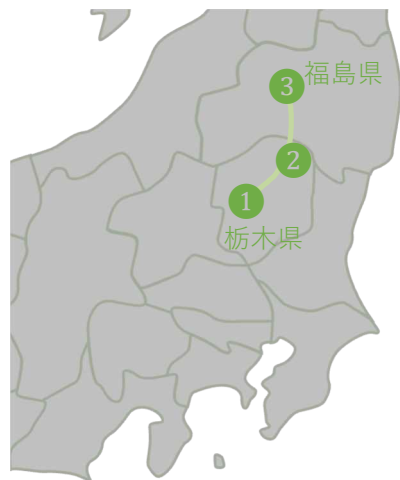


日光・奥州街道、会津西街道／GREEN旅



～農の心と食文化にふれる、緑を味わう旅～

Route



Day 1

AM

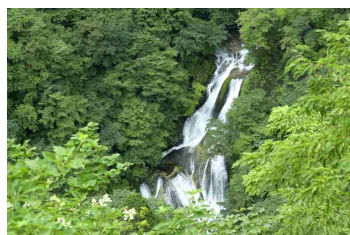
PM

Day 2

AM

日光駅 発

芦ノ牧温泉 泊／発



車
60分



車
80分

車
20分



① 霧降の滝

華厳滝、裏見滝とともに日光三名瀑の一つに数えられる。葛飾北斎が溪流の美しい変化を描いたことでも有名。

② 那須里山ファームライド

里山サイクリングに加え、地元の食を支え、文化を守る農家での収穫体験や農家ランチを体験。

③ 大内宿

江戸時代の宿場町の面影が残る大内宿では、美しい茅葺き屋根の街並みを散策。

Highlights

◆日光三名瀑に数えられる上下二段の荘厳な景観と、霧が降るような水しぶき、そして葛飾北斎も描いた美しい渓谷美に触れる。

◆自然を感じるサイクリング、都会では味わえない農体験と癒し、絶景を満喫。

◆旬の桃狩りや伝統工芸品の会津絵ろうそく体験で会津の魅力に触れる。

大内宿

車
40分



バス
15分

OR
車
10分

③ 桃狩り

会津地域の豊かな自然と共に、四季に寄り添いながら「農」を核としたビジネスを展開するがぶりガーデンにて桃狩りを体験する。



バス&徒歩
40分

OR
車
10分

③ 会津絵ろうそく体験

日本の花や植物が色鮮やかに描かれており、Japan Greenを描く体験ができる。

会津若松駅 着



電車
30分

OR
車
10分

③ 和漢ハーバルティーブレンド体験

会津藩主が領民を疫病から救うため整備した薬草園で育てられている薬草を使った、ハーブティー（和漢ハーバルブレンド）を御薬園で味わう。

: GREEN (花・緑・自然) 体験コンテンツ



日光・奥州街道／GREEN旅

～匠に出会う、盆栽・竹・日本ウイスキーの旅～



Route



Highlights

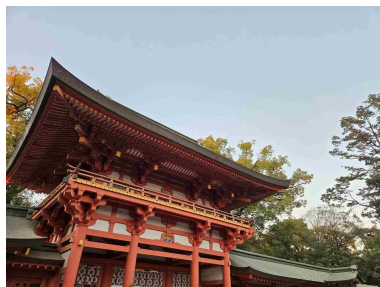
- ◆紅葉染まる武蔵一宮氷川神社から盆栽村まで、人と自然の共生美を辿る旅。
- ◆盆栽、日本酒、そして秋もなお凛とした緑が美しい竹林に宿る手仕事と精神性を体感。
- ◆盆栽体験を通じ、自然が生み人が育てる文化と技術に触れる。

GREEN: GREEN(花・緑・自然)体験コンテンツ

Day 1

AM

大宮駅 発



① 武蔵一宮氷川神社

約二千年の歴史を持つ関東有数の古社。南北に2km続く参道の並木が圧巻。



② 大宮盆栽美術館・大宮盆栽村

「盆栽村」開村から100年。盆栽の伝統をコミュニティで守り続け、その伝統美を国内外へ発信する、世界中の盆栽愛好家の聖地。



③ 西堀酒造見学

日光の名水と米、杜氏の技が光る風土に根差した酒蔵。日本酒と、日本酒酵母で作られる貴重なジャパンウイスキーが楽しめる。

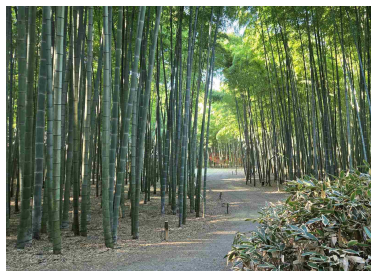
PM

宇都宮 泊

Day 2

AM

宇都宮 発



④ 若竹の杜 若山農場

100年に渡り続く農場。手入れの行き届いた竹林の美しさは必見の価値あり。ドラマや映画など、多くのロケ地としても活用されている。



④ 若竹の杜 抹茶体験

職人の途中、ぜひ竹林の中にある茶屋で一服を。抹茶と栗菓子の味わい、竹の器が旅の思い出となるでしょう。



⑤ 春花園盆栽美術館 盆栽体験

海外から多くの盆栽職人修行生が集まる江戸盆栽の名園であり、盆栽の制作体験ができる。

PM

東京駅 着

TAXI & 電車 40分



日光・奥州街道、佐原街道、水戸街道／GREEN旅



～祈りと手仕事、冬景色に出会う日本美の旅～

Route

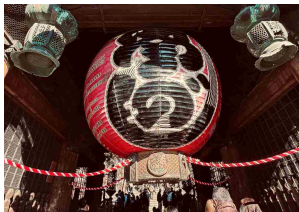


Day 1

AM

PM

成田駅 発



① 成田山公園

成田山新勝寺に隣接する成田山公園を散策。老木が立ち並ぶ園内では、冬には澄んだ空気の中、静かな境内景観を楽しめる。



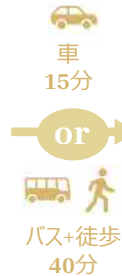
② 佐原の町並み

佐原の歴史ある町並みを散策し、小野川舟めぐりや伊能忠敬の旧家・記念館を通じて、江戸文化と日本地図を生んだ人物の原点を辿る。



③ 偕楽園

水戸藩主・徳川斉昭が造園した「日本三名園」のひとつで梅花鑑賞。120年以上の歴史を持つ「水戸の梅まつり」では、約100品種・3,000本の梅が咲き誇る(2月中旬～3月中旬が見ごろ)。



④ 梅染体験

水戸の梅の剪定枝を活用。植物資源を暮らしに役立てる知恵を学ぶ。

水戸 泊

Highlights

◆成田山詣の参道や佐原の水郷に残る商家町並みを歩き、日本人の信仰と暮らしがりを体感。

◆日本三名園・偕楽園に咲く梅と梅染体験を通じ、自然の恵みを暮らしに活かしてきた日本の知恵と美意識を体感する。

◆日本三名瀑・袋田の滝が生み出す壮大な水流と渓谷美を間近に感じ、自然の力と静寂を体感する。

Day 2

AM

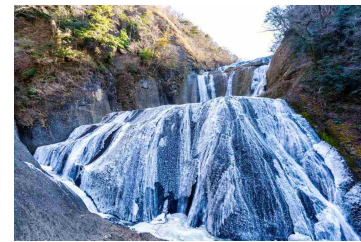
PM

水戸 発



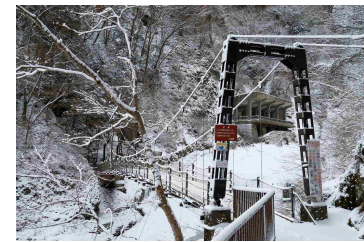
③ 水府提灯作り体験

水戸は提灯の日本三大産地と称され、海外でも人気。初心者でも手軽に伝統の提灯作り体験が可能。



④ 袋田の滝

高さ120m、幅73mのスケールを誇る「日本三名瀑」のひとつ。新緑や紅葉など四季ごとに表情を変える雄大な姿は美しく、冬の厳しい寒さが生む「氷瀑」は神秘的。凍てついた滝はまさに自然が創り出す彫刻そのもので、息を呑むような絶景が広がる(12月下旬～2月上旬が見ごろ)。



水戸 駅 着



GREEN: GREEN(花・緑・自然)体験コンテンツ



中山道、川越街道、三国街道／GREEN旅



～桜と宿場文化をたどる、春を歩く旅～

Route



Day 1

AM

川越駅 発



① 松本醤油商店

小江戸・川越にある江戸時代創業の醤油蔵で木桶仕込みを続ける老舗。川越散策の途中、発酵の技と職人の手仕事を今に伝える蔵の様子を見学できる。

車
60分



② 忍城

関東七名城の一つ。豊臣秀吉の関東平定の際、水攻めにも耐えたことから「浮き城」とも呼ばれる名城で、春には桜鑑賞も楽しめる。

車
70分

PM



③A 見沼田んぼ桜回廊

日本一の長さを誇る桜並木の散策路。

車
90分

or

電車+バス
100分

車
20分

電車+徒歩
35分



③B 熊谷桜堤

江戸時代から桜の名所。約500本のソメイヨシノが並ぶ。

車
40分

or

電車+徒歩
30分

Highlights

- ◆川越や忍城など、街道文化が育んだ歴史ある町を巡り、江戸の情緒に触れる街歩きを楽しむ。
- ◆関東屈指の桜の名所や、赤城山の爽やかな春景色を満喫。
- ◆醤油蔵見学や藍染、煉瓦作りなど、五感で楽しむものづくり・伝統文化体験。

Day 2

AM

高崎 泊／発



④ 深谷煉瓦作り体験

深谷には上質な煉瓦の生産に適した土があり、生産が盛んに行われていた。深谷駅庁舎、旧煉瓦製造施設見学し、煉瓦作りを体験。

車
60分



⑤ ぐんまフラワーパークプラス

2025年秋にリニューアルの花と自然に親しむ体験型公園。季節を感じながら、フラワーベース作りや花や森をテーマにしたワークショップ等を楽しめる。

車
40分



⑤ 赤城山

関東平野を見渡す日本百名山・赤城山で楽しむハイキング。豊かな自然と季節の景色を満喫でき、初心者～中級者向けの歩きやすいトレイルも充実している。

車
70分

PM

桐生駅 着



⑥ 織物参考館・紫

織物のまち桐生で1300年にわたり受け継がれてきた技と歴史に触れながら、伝統技法を学ぶ藍染体験。

車
10分

or

徒歩
20分

GREEN : GREEN (花・緑・自然) 体験コンテンツ



中山道、北国街道／GREEN旅

～峠を越えて歴史を体感する、街道探訪の旅～



Route



Highlights

◆青く澄んだ「四万ブルー」と巨大な岩盤。数万年の歳月が生んだダイナミックな造形美に目を奪われる。

◆歴史的な杉並木を歩き、普段は入れない廃線区間を、地元ガイドの案内で特別に歩ける限定体験。

◆屋敷を吹き抜ける心地よい風。畳の上で庭園を眺め、古き良き日本の夏を贅沢に体感。

Day 1

東京駅 発

新幹線+車
140分

AM



① 中之条ガーデンズ

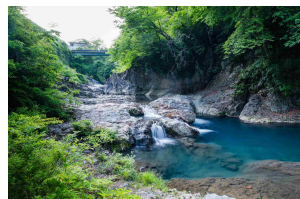
四季折々の花々が楽しめる回遊式庭園。ヘッドガーデナーとともにガーデンウォークを楽しみながら、庭園の見どころに触れる。

車
15分

OR

バス+徒歩
35分

PM



② 四万の甌穴群

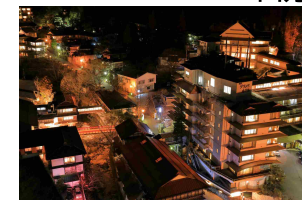
「四万ブルー」と称される澄んだ水と、川の浸食により形成された地形が見られる自然景観。長い年月が生んだ造形美を伝えている。

車
5分

OR

バス
8分

四万温泉 泊



② 四万温泉

1200年以上の歴史を持つ名湯として知られ、豊富な湯量を誇る温泉郷。静かな自然環境の中で湯治文化に触れられる。

Day 2

四万温泉 発

車
90分

AM



③ 安中原市のスギ並木

街道の杉並木としては日本最大の規模を誇り、樹齢400年の歴史的景観。安中の道の記憶を今に伝える。

車
50分

OR



③ 碓氷峠廃線ウォーク

普段は公開されていない廃線をガイドと歩く。苔とシダが広がる幻想的な風景の中で、持続可能な観光の取り組みに触れる。

車
150分

OR



妙高 泊

④ 乙見湖

笹ヶ峰高原に広がる美しいダム湖。湖畔を散策しながら、湖面に映る山々の絶景や夢見平遊歩道へ続く自然を楽しめるスポット。

Day 3

妙高 発

車
35分

AM



④ 笹ヶ峰

標高1,300mに位置する夢見平歩道橋。涼やかな高原で、ガイドウォークを楽しみながら高原植物に出会える。

車
180分

OR



⑤ 北方文化博物館

越後の大地主・伊藤家の豪農の館を訪れ、屋敷・庭園や瀧の周辺を散策。新田開発を支えた豪農の暮らしと歴史に触れる。



⑥ 福島瀧

車
30分

OR



⑥ 新潟ふるさと村

新潟は枝豆の作付面積日本一。当地の「くろさき茶豆」の香りと味を体験。

新潟駅 着

車
20分



中山道、北国街道／GREEN旅



～葛飾北斎の世界に浸る、芸術と歩きの旅～

Route



Day 1

AM

PM

両国駅 発



① すみだ北斎美術館

葛飾北斎の代表作から制作背景まで体系的に学べるアートミュージアム。



新幹線+電車
120分

or



車
120分



② 妙義山

葛飾北斎の「勝景奇覧」に描かれた奇岩の山。北斎に思いを馳せながらガイドの案内で登山道をウォーキング。



or



車
90分



3A 草津温泉

草津または伊香保 泊

日本有数の名湯として名高く、江戸時代には「天下の三名泉」とも呼ばれた湯畑のある温泉街。



3B 伊香保温泉

石段街が象徴的な歴史ある温泉地で、石段の両側に土産物屋や旅館が軒連ねる風情ある温泉街。



車
70分

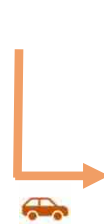
Day 2

AM

PM

草津または伊香保 発

長野駅 着



車
90~150分



④ 地酒の酒蔵巡り

江戸期創業の2つの酒蔵を巡り、ぜひ地酒のテイastingを。木桶仕込みなど個性豊かな小布施の地酒が楽しめる。



徒歩
5分



④ 北斎館

葛飾北斎の肉筆画や天井絵など、80歳を超えてからの大作を鑑賞できる。



徒歩
20分



④ 岩松院

葛飾北斎が88歳にして手がけた天井絵「八方睨み鳳凰図」を解説とともに鑑賞。



車
5分



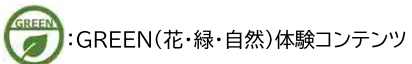
電車
30分

Highlights

◆葛飾北斎ゆかりの地、東京・墨田区が旅のスタート。

◆秋の妙義山は、切り立った岩肌と紅葉が見どころ。まさに、葛飾北斎の世界観。

◆80歳を越えてから葛飾北斎が描いた大迫力の天井画を鑑賞。





中山道、三国街道／GREEN旅

～雪景色に心を預ける、白銀の街道旅～



Route



Day 1

AM

PM

東京駅 発

新幹線+電車
90分



車
10分



① 旧白井宿

江戸時代の宿場町の面影を残す歴史的集落。石垣や水路、町並みを通して、街道と暮らしが一体となった日本の原風景を感じられる。

車
35分

OR

電車
70分



② いちご狩り

冬の沼田では、ハウス栽培によるいちご狩りを体験。甘みと酸味のバランスが良い完熟いちごを味わえる。



車
60分



③ 宝川温泉庭園風呂

広大な庭園露天風呂で目の前を流れる川と雪景色の中で温泉に浸かる。自然に溶け込むような冬だけの特別な体験。

宝川温泉 泊

Highlights

- ◆冬に旬を迎える沼田地区で、甘くみずみずしいいちご狩りを楽しむ。
- ◆雪景色に囲まれた宝川温泉の名物・雪見露天風呂で、心も身体も温まるひととき。
- ◆白銀の大自然に包まれながら、かんじきを履いて雪原を歩き、雪下野菜を掘り出す冬ならではの体験。

Day 2

AM

PM

宝川温泉 発

車
90分



④ 清津峡トンネル見学

雄大な柱状節理の岩肌と清流が織りなす、清津峡の大自然を体感できるトンネル。

車
30分



④ 雪下野菜掘り体験 かんじき体験

豪雪地域・十日町の暮らしが楽しめる冬季アクティビティ。雪下野菜等の地域ならではの食材を使った「雪見御膳」は、冬季限定の伝統料理。



車
35分

OR

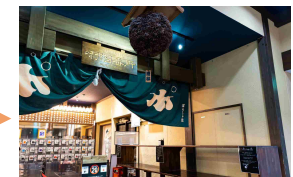
電車
40分



④ 越後妻有里山 現代美術館 MonET

里山の風景と現代アートが融合する美術館。豪雪地・越後妻有の自然と暮らしをテーマに、地域全体を舞台とした作品を紹介している。

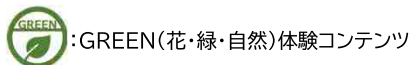
車
50分



⑤ ぽんしゅ館 唼酒番所

新潟県内の酒蔵が誇る地酒を気軽に試飲できる人気スポット。専用コインを使って好みの日本酒を楽しむ。

徒歩





甲州街道、みのお道 / GREEN旅

～ 祈りと森に身を委ねる、静寂と再生の旅 ～



Route



Highlights

- ◆伝統技術が息づく山十製紙で、和紙づくりの魅力に触れる紙漉き体験。
- ◆森林セラピーの要素を取り入れた信仰の道「みのお道」を歩き、森の静けさと深い呼吸を味わう。
- ◆身延山でのお勤めと、地域食材を使った精進料理で、心と身体を整えるひととき。

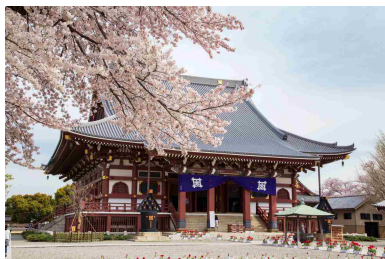
Day 1

AM

PM

池上駅 発

赤沢宿地区 泊



① 池上本門寺

広大な境内に五重塔や石段は、都市に残る歴史的宗教空間を今に伝えている。96段の石段を彩る桜が美しい、都内有数の桜の名所。



② 紙漉き体験

職人の丁寧な指導のもと、伝統工芸・西島手漉き和紙の制作工程を実際に体感。一枚の和紙が生まれる過程を学び、日本のものづくり文化に深く触れる。



③ 赤沢宿地区散策

久遠寺と七面山を結ぶ参道沿いに栄えた、信仰の歴史を今に伝える山間の宿場集落。石畳の坂道と雛壇状に連なる家並みが、往時の面影を色濃く残す。

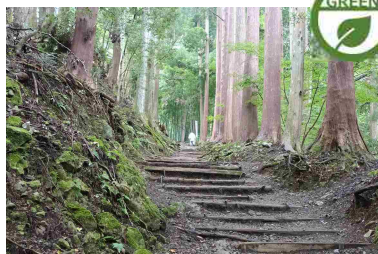
Day 2

AM

PM

赤沢宿地区 発

身延駅 着



④ みのお道トレイル体験

身延山久遠寺と七面山を繋ぐ、みのお道を歩く。「参詣道」「身延往還」「身延山追分道」とも呼ばれる、修行と祈りの道。(所要時間:180分)



④ 精進料理

身延山で受け継がれてきた精進料理と、厳かな読経が響く山奥の本堂での午後のお勤め。ゆばなどの地域食材に親しみ、静かな祈りの時間とともに、心身を整える日本の伝統文化が体験できる。



④ 身延山お勤め





甲州街道、信玄棒道／GREEN旅

～涼と癒しを楽しむ、高原ウェルビーイングの旅～



Route



Highlights

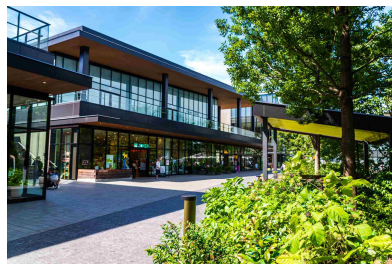
- ◆都会の喧騒を離れ、鮮やかな花々に癒される昭和記念公園で、心と身体を整える。
- ◆歴史の息吹が残る「信玄棒道」を辿り、古道を守り継ぐ人々の想いと、森の静寂に心洗われる。
- ◆夏の森に素足で触れる「はだしの森ウォーク」や森林サウナ、自然の恵みを味わうランチで、五感を研ぎ澄ませます。

Day 1

AM

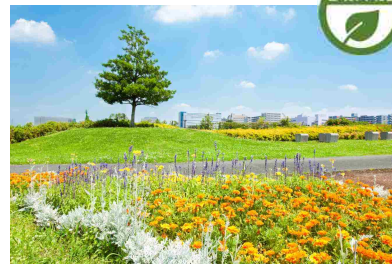
PM

新宿 発



① GREEN SPRINGS

中央広場の緑、カフェやショップが並ぶ街並み、歩みの先に広がる昭和記念公園の景色。緑と空に包まれながら散策を楽しめる、都市の中の開放的な複合文化空間。



① 国営昭和記念公園

昭和天皇御在位50年を記念して開園した広大な国営公園。多様な季節の草花が楽しめる庭園等、自然散策に最適な施設が充実。セグウェイに乗って広大な園内をめぐるガイドツアーもあり。



② 信玄棒道ガイドウォーク

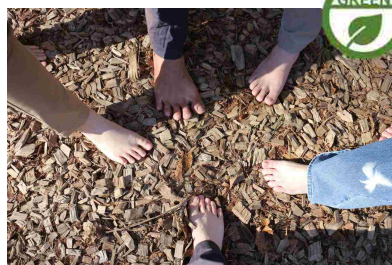
武田信玄が戦略目的で整備した軍用道路「上の棒道」を歩く散策路。江戸時代の石仏と豊かな自然が今も残る、歴史ある道。

Day 2

AM

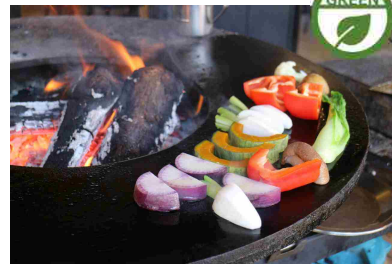
PM

小淵沢 発



③ はだしの森ウォーク

清里高原の標高1200mの森を舞台に、はだしで森の中を歩きながら大地の感触や草木・土の香り、鳥や滝の音といった自然の五感を肌で感じる体験。



③ ヴィーガンランチ

清里高原の涼やかな気候と寒暖差が育てた甘みと旨みの詰まった高原野菜で身体を整えた後は、八ヶ岳高原の森に囲まれた屋外サウナで心身をリフレッシュ。自然の恵みを、食と温熱で感じるウェルネス体験。



③ 森林サウナ体験

小淵沢駅 着



GREEN: GREEN(花・緑・自然)体験コンテンツ



甲州街道、佐久甲州街道／GREEN旅

～実りと発酵を楽しむ、秋の恵みの旅～



Route



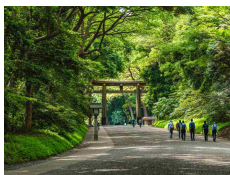
Highlights

- ◆明治神宮の広大な杜を散策し、都心の喧騒を忘れる静寂の中で、日本独自の伝統と精神文化に触れる。
- ◆勝沼の豊かな自然が育んだぶどう狩りとワイナリーを巡り、土地の歴史と醸造文化の奥深さを堪能。
- ◆苔に覆われた森と水辺が織りなす白駒池を歩き、もののけに会えるような神秘的な世界を楽しむ。

Day 1

AM

代々木駅 発



① 明治神宮

100年先を見据えて計画された奇跡の森づくりのストーリーをガイドが案内。



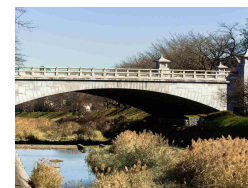
電車 50分

or



車 60分

PM



② 多摩御陵散策

大正天皇陵、昭和天皇陵等4陵が造成されており、荘厳で静謐な雰囲気にも包まれている。



電車 60分

or



車 60分

勝沼 泊

Day 2

AM

勝沼 発



③ ぶどう狩り

多種多様な品種を新鮮な状態で味わえるだけでなく、富士山を望む絶景やワイナリー巡りも同時に楽しめる。



③ ワイナリーツアー

日本屈指のテロワールが生む銘醸地。希少な銘柄の比較試飲など、五感でワインの奥深さを堪能できる贅沢な体験。



電車 60分

or



車 50分

小淵沢 泊

Day 3

AM

小淵沢 泊



④ 白駒池

ガイドの案内により、季節ごとに変化する紅葉と秋にも美しい苔の生態系楽しみながら、池周辺をウォーキング。



④ 黒澤酒造

千曲川伏流水(自社井戸)を使った日本酒作りの取り組みと銘酒の資料館見学と地酒の試飲。



or



小淵沢 駅 着

: GREEN(花・緑・自然)体験コンテンツ



甲州街道、富士道／GREEN旅

～ 大地と空と繋がるリリート旅 ～



Route



Day 1

AM

PM

新宿駅 発

野辺山 泊



① 禅リリート富士

耕雲院にて、坐禅と写経を体験し、静かな空間で精進料理をゆっくりいただく。



OR



② 笹一酒造 地酒テイasting

富士山の御神酒を醸す創業360年以上の歴史ある酒蔵。オリジナルの日本酒やワインが楽しめる。



③ 星空鑑賞

日本屈指の星空スポット野辺山にて、星空ソムリエのガイドによる満点の星座を鑑賞。



Highlights

- ◆心: 禅体験と地酒文化に触れ、感覚と心を静かに整える
- ◆空: 高原の星空と森の静けさの中で、満点の星空とつながる
- ◆大地: 身体感覚を呼び覚まし、自然との一体感を取り戻す

Day 2

AM

PM

野辺山 発

小淵沢駅 着



④ 森林サウナ体験

八ヶ岳高原の美しい自然に癒されながら、森に囲まれた屋外サウナで心と身体のリフレッシュ。清里周辺に数軒の施設あり。



④ 萌木の村

森と共生し、シードバンクの役割を担う美しいナチュラルガーデンが広がる複合施設。クラフトビールやベジタリアン向けの食事もあり。



OR



: GREEN (花・緑・自然) 体験コンテンツ



東海道、鎌倉街道／GREEN旅



～江戸文化と古都をつなぐ春の旅～

Route



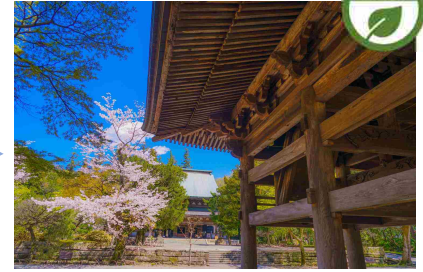
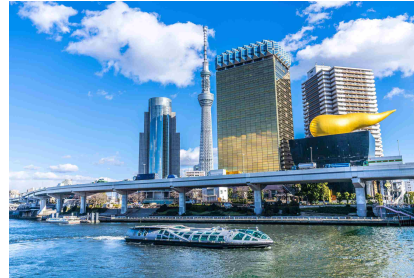
Day 1

AM

PM

浅草駅 発

鎌倉 泊



① 東京水辺ライン

浅草から浜離宮へと隅田川を進む、移動そのものが観光となるクルーズ。春には川沿いの桜や新緑を眺めながら、江戸から続く水辺の風景と現代東京の街並みを楽しむ。

② 浜離宮恩賜庭園

徳川将軍家の別邸として造られた大名庭園を散策。潮の満ち引きによって表情を変える池や鳴場を備え、春には桜や菜の花など季節の花々が庭園を彩り、歴史ある庭園と現代的な都市風景が共存する景観を楽しむ。

③ 円覚寺

鎌倉を代表する禅寺の境内を散策。境内には国の名勝に指定された庭園や、国宝に指定されている建造物が残る。春には桜が境内を彩り、抹茶体験を通して日本の禅文化に触れる。

Highlights

- ◆ 高層ビルを借景に、潮入りの池と四季の草花が彩る、都心とは思えない優雅な大名庭園。
- ◆ 緑に包まれた古道を辿りながら、歴史と暮らしが息づく鎌倉の原風景に出会う。
- ◆ ほのかな香りに心を澄ませ、日本文化の奥深さを五感で味わう、静かで贅沢なひととき。

Day 2

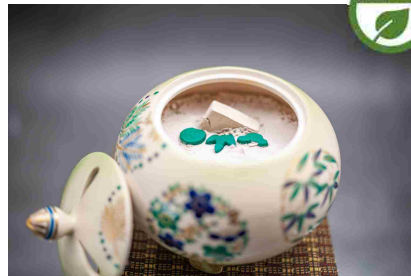
AM

PM

鎌倉 発

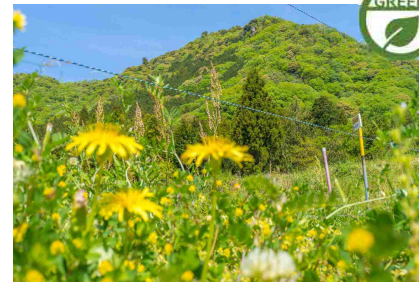
鎌倉 駅着/発

江ノ島 駅着



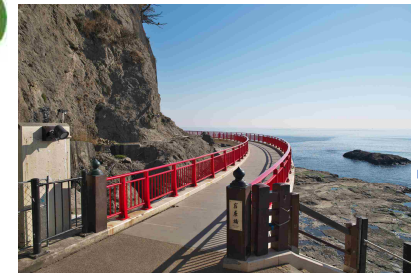
③ 香道体験

鎌倉の歴史とともに受け継がれてきた香道の世界を体験。香木の香りに静かに向き合い、季節や心の動きを感じ取る、日本ならではの精神文化に触れる。(鎌倉駅周辺、複数箇所体験可能)



③ 鎌倉山

鎌倉駅をスタートし、古の歴史道と自然、そして人々の暮らしが入り混じる鎌倉山エリアを歩くハイキング。春には若葉や季節の草花が彩りを添え、静かな道を進みながら鎌倉の歴史と自然に触れる。



③ 江の島

鎌倉山から海と信仰の歴史が息づく江の島エリアへ。展望台からの眺望や、古くから信仰の場とされてきた岩屋洞窟を巡り、島ならではの開放的な風景を楽しむ。(鎌倉駅から江ノ島まで約12km)

GREEN: GREEN(花・緑・自然)体験コンテンツ



東海道、中原街道、鎌倉街道 / GREEN旅



～清流と歴史を味わう、涼やかな街道旅～

Route



Day 1

AM

PM

浜松町駅 発



徒歩
5分



① 旧芝離宮恩賜庭園

江戸時代初期の大名庭園の一つを散策。都心とは思えない自然と歴史に包まれながら、四季折々の景観を味わう。



電車
30分



② 洗足池公園

日本の近代史を代表する人物である勝海舟や西郷隆盛ゆかりの史跡が残る公園を散策。池と豊かな緑に囲まれた園内で、自然と歴史が共存する景観を楽しむ。

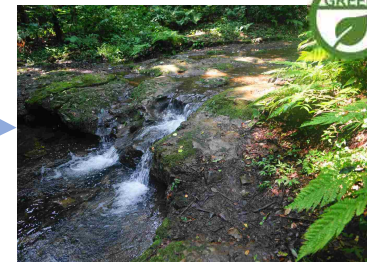


車
50分

or



電車+徒歩
60分



③ 陣ヶ下溪谷公園

鎌倉時代の歴史を背景に持つ、横浜市内で唯一「溪谷」と呼ばれる公園を散策。市内とは思えない豊かな自然の中で、ガイドウォークが楽しめる。

鎌倉 泊

Highlights

◆起伏のある築山と池を巡りながら楽しむ、江戸初期の姿を色濃く残す、都心の静かな大名庭園。

◆横浜市内で唯一「溪谷」と呼ばれる地に残る、木立とせせらぎが涼を誘う、歴史薫る癒やしの散策路。

◆湘南平の360度パノラマと富士山、相模湾の雄大な眺望を楽しむ、開放感あふれる高麗山公園の散策。

Day 2

AM

PM

鎌倉 発



車
60分

or



電車+バス
80分



④ 高麗山公園

高台に広がる自然豊かな公園を散策。湘南平と呼ばれる展望スポットからは、富士山や相模湾、伊豆半島まで一望できる眺望の名所として知られる景観を楽しむ。



車
30分

or



電車+バス
60分



⑤ 小田原城

戦国時代にこの地を治めた名門・北条氏の拠点として知られる小田原城。城跡を歩きながら、城下町の成り立ちや周囲に広がる景観を楽しみ、戦国の歴史を身近に感じる。



徒歩
5分

or



徒歩
20分

or



バス
15分



⑥ 清閑亭庭園

近代日本を代表する政治家の旧別邸として知られる日本庭園。小田原の町と海を見渡す景観の中で、小田原産の食材や小田原の伝統工芸品などを使用した料理が楽しめる。

小田原駅 着



東海道／GREEN旅



～伝統文化と現代アートが交差する旅～

Route



Highlights

- ◆石畳や杉並木が残る箱根八里を歩き、東海道の原風景を体感
- ◆寄木細工と江之浦測候所に見る、時代を超えて更新される自然美
- ◆日本橋を起点に、街道文化と食、職人技が今も息づく姿に触れる

Day 1

新宿駅 発



AM



① 寄木細工体験

江戸期に発展した箱根の伝統工芸。天然木を用いた寄木制作を体験。



or



PM



① 旧東海道

石畳と杉並木が残る旧東海道。江戸時代から続く甘酒茶屋や、恩賜公園をガイドと共に巡る街道歩き。(甘酒茶屋から芦ノ湖畔まで約6km、3時間のガイドウォーク)



① 甘酒茶屋



① 芦ノ湖

箱根外輪山に囲まれた火山湖。湖畔からは富士と山岳景観が堪能できる。

芦ノ湖 泊

Day 2

芦ノ湖 発



AM



② 江之浦測候所見学

現代美術と自然、天文が融合した「東京から一番近い自然遺産」とも称される相模湾を望む丘陵に広がるアート空間。

PM



③ 日本橋

江戸の起点日本橋で、ガイドと共に福德神社や出汁テイスト、刃物とき見学や熙代勝覧を鑑賞するまち歩き。

③ 熙代勝覧



日本橋駅 着



東海道、大山街道／GREEN旅

～冬が彩る花・祈り・文化の旅～



Route



Day 1

AM

PM

品川駅 発

大山 泊



徒歩
15分

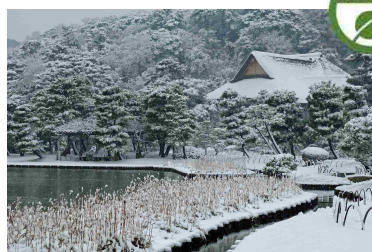


① 品川神社

独特な建築様式で知られる。富士山に見立てた富士塚「品川富士」があり、都心にいながら富士登拝が体験できる。



車
40分



② 三溪園

歴史的建造物と自然美が調和する三溪園。庭園の成り立ちや景観の見どころを解説しながら巡る「冬の日本庭園ガイドウォーク」で、静かな季節ならではの庭園の魅力を味わう。



車
60分



③ 大山宿坊

大山詣りの歴史を受け継ぐ宿坊で、信仰に根ざした暮らしのリズムに身を委ねる。夕食には大山豆腐など地元食材を用いた精進料理が並ぶ。



Highlights

◆1187に創建された品川神社で都内最大級の富士塚に登り、江戸時代から続く富士信仰を知る。

◆大山の宿坊で滋味豊かな精進料理を嗜み、厳かな朝のお勤めで心澄み渡る至福のひとつとき。

◆富士山と3万5千本の梅が織りなす、歴史香る曾我梅林の絶景散策。

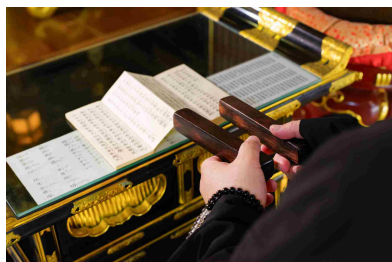
Day 2

AM

PM

大山 発

小田原駅 着



③ 宿坊での朝のお勤め

澄んだ朝の空気の中、読経や写経を通して心を整える、宿坊ならではの朝の時間を体験。



車
50分

or



電車+バス
105分



④ 曾我梅林

富士山と箱根の山々を背景に約3万5千本の梅が咲く「梅まつり」が有名。眼下に広がる相模湾や富士山を堪能できるウォーキングコースもお勧め。(梅まつりは毎年2月頃に実施)



車
20分

or



バス
45分



④ 小田原の城下町

今も親しまれる小田原城と、歴史ある木造建築が町中に点在する残る風情豊かな城下町。かまぼこ通りを散策すれば、小田原の食文化を気軽に楽しむことができる。



徒歩
15分



GREEN(花・緑・自然)体験コンテンツ



東海道、房総往還、浦賀道／GREEN旅



～浮世絵でたどる、江戸前周遊の旅～

Route



Highlights

- ◆江戸期と同じ参拝ルートで鋸山を巡り、日本最大級の大仏など、仏教文化と彫刻技術を体感。
- ◆ミシュラン二つ星の城ヶ島公園を訪ね、自然が織りなす絶景を堪能。
- ◆幕府御用達の歴史を持つ三富染物店で、江戸から続く伝統技法による「ミニ大漁旗」の染付を体験。

Day 1

原宿駅 発

徒歩 4分

AM



① 太田記念美術館見学
浮世絵に特化した美術館。実業家の故・太田清蔵氏のコレクションを中心に約15,000点に上る作品を所蔵。

電車 3時間

OR

車 70分

PM



② 菱川師宣記念館見学
1985年開館の公立浮世絵美術館。「見返り美人図」で有名な郷土の偉人・菱川師宣と「浮世絵」について紹介する施設。

徒歩 30分

OR

車 6分

鋸南 泊

Day 2

鋸南 発

徒歩 60分

AM



② 鋸山ガイドウォーク
江戸時代と同じ参拝ルートをたどり、日本最大級の石像大仏や1,500体もの石像・羅漢像、断崖絶壁から下を覗く「地獄覗き」等、日本の仏教文化や彫刻技術に触れる。

車 3分

OR

徒歩 14分

PM

(東京湾フェリー利用)



② 金谷港～東京湾フェリー～久里浜港
千葉県房総半島から神奈川県久里浜港へ約40分の船旅。船から鋸山の岩肌や、東京・横浜の高層ビル群を望む。

金谷港 → フェリー 40分 → 久里浜港


三崎口 泊

Day 3

三崎口 発

バス 10分

AM



③ 城ヶ島公園
ミシュラン・グリーンガイドジャパンで「近くにいれば寄り道して訪れるべき場所」を意味する2つ星で掲載されている。1～2月は八重水仙の見頃。

バス 10分

OR

車 6分

PM



③ 三富染物店
江戸幕府御用達の職染めから大漁旗を染めるようになり現在へ至る。江戸時代から変わらないミニ大漁旗染体験。「かながわの名産100選」に選ばれている。

電車&徒歩 90分

OR

車 60分

神奈川宿

徒歩 10分

↑

横浜駅 着